

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

NX7700x/A6010E-2 シリーズ

ファームウェア更新ガイド

(オフライン版、Starter Pack 利用)

GZS-001768-001-00
2024 年 2 月 第 6 版
© NEC Corporation 2022-2024

1	目次	
2	目次.....	2
3	1. はじめに	4
4	2. 本書について.....	4
5	2.1. 本文中の記号について.....	4
6	2.2. 注意事項	4
7	3. 準備	7
8	3.1. 事前確認	7
9	4. 接続	9
10	5. 装置コンソール接続方法.....	10
11	5.1. iLO WEB インターフェース接続方法	10
12	5.2. リモートコンソール接続方法	13
13	5.3. STARTER PACK のマウント方法	14
14	6. ファームウェア更新手順.....	16
15	6.1. 【ケース 0A】事前ファームウェア更新手順.....	41
16	6.2. 【ケース P】追加ファームウェア更新手順.....	51
17	7. トラブルシューティング	63
18	7.1. [TS-01] iLO WEB インターフェースに、ファームウェアアップデート失敗の旨のメッセージが表示される.....	63
19	7.1.1. 現象.....	63
20	7.1.2. 対処.....	63
21	8. 付録.....	72
22	8.1. ファームウェアバージョン確認方法	72
23	8.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法.....	72
24	8.2. リモートコンソール及び仮想メディア	74
25	8.2.1. .NET リモートコンソール (.NET IRC) の使い方	74
26	8.2.1.1. コンソールの起動	74
27	8.2.1.2. 仮想メディアのマウント方法.....	74
28	8.2.1.3. 本体装置の電源制御方法	75
29	8.2.2. HTML5 統合リモートコンソールの使い方.....	77
30	8.2.2.1. コンソールの起動	77
31	8.2.2.2. 仮想メディアのマウント方法.....	77
32	8.2.2.3. 本体装置の電源制御方法	78
33	8.2.3. Java 統合リモートコンソール (Java IRC) の使い方	79
34	8.2.3.1. コンソールの起動	79
35	8.2.3.2. 仮想メディアのマウント方法.....	80
36	8.2.3.3. 本体装置の電源制御方法	81
37		
38		
39		

1

2 ご注意

3

4 1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換を行うことは、禁止され
5 ております。

6 2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

7 3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一お気づきの点や、ご不明の点がありましたら、弊社ま
8 でお連絡ください。

9 4. 本書記載操作を行った結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承
10 ください。

11 5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各
12 種 OS の操作、その他一般的かつ基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください
13 い。

14

15

16 © NEC Corporation 2022-2024

17 日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。

18

1

2

1. はじめに

3 このたびは、NX7700x/A6010E-2 シリーズ製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
 4 本書は、NX7700x/A6010E-2 シリーズ製品向けの文書となります。

5

6

2. 本書について

7 本書は、対象本体装置の Starter Pack を使って、対象本体装置にインストールされているファームウェアをオフラインで
 8 更新するための手引きです。

9

対象製品 (本体装置)	NX7700x/A6010E-2
ファームウェア更新作業時間	<ul style="list-style-type: none"> • Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使用される場合 大凡 4 時間 00 分 (1 本体装置あたり) • 上記以外の Starter Pack を使用される場合 大凡 3 時間 15 分 (1 本体装置あたり)




10

11

2.1. 本文中の記号について

12 本書では、下記 3 種類の記号を使用しています。
 13 これらの記号と意味をご理解になり製品を正しくお取り扱いください。

14

 重要	製品の取り扱いや、OS、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
 チェック	製品や OS、ソフトウェアを操作する上で、確認しておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役立つ情報や便利な事柄を示します。

15

16 また、本文中に掲載している画面イメージは一例であり、対象製品の構成及びご使用 Starter Pack に依り若干異なる場
 17 合がありますが、操作する上で支障のない差異ですので、予めご承知おきください。

18

19

2.2. 注意事項

20 本書記載手順でのファームウェア更新に係る注意事項を記載します。


21


22 **[注意事項 01]**

23 本書記載手順でファームウェアを更新した場合、システムユーティリティの設定(BIOS/Platform Configuration
 24 (RBSU))及び iLO5 の設定が変更される場合があります。
 25 そこで、本書記載手順でファームウェアを更新する前に、これら設定をバックアップし、ファームウェアを更新した
 26 後、これら設定をリストアすることをお勧めします。
 27 バックアップ及びリストア方法については、下記ガイドを参照してください。

- システムユーティリティの設定(BIOS/Platform Configuration (RBSU))
→ 対象本体装置のメンテナンスガイド(設定編)
- iLO5 の設定
→ 対象本体装置の iLO5 ユーザーズガイド


28

 ヒント 本体装置セットアップ時におけるシステムユーティリティ設定に係る事項が、本体装置のユーザーズガイドの「3章 (2.4 設定が必要なケース)」に記載されています。

 ヒント 各種ガイドの最新版を、web サイト <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/> に掲載しています。

[注意事項 02]

本書記載手順でファームウェアを更新し、システムユーティリティの設定(BIOS/Platform Configuration (RBSU))及び iLO5 の設定をリストアもしくは再設定した後、これら設定をバックアップしてください。


 ヒント 何世代も前のファームウェア環境下でバックアップしたバックアップファイルが、新しいファームウェア環境下でリストアできなくなる場合があります。


[注意事項 03]

下記条件を全て満たす場合、Starter Pack (S8.80-005.05) も必要になりますので、予め準備してください。

■条件

- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。
 - ・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
 - ・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)
 - ・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
 - ・ [NE3303-197] SAS コントローラ
- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「5.32 未満」である。

 ヒント ファームウェアバージョンの確認方法は、
<8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。

 ヒント 上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「5.61 以上」を適用します。

但し、バージョン「5.61 以上」への更新には、下記制約があります。

[制約] バージョン「5.61 以上」への更新は、バージョン「5.32 以上」からのみ可能。
バージョン「5.32 未満」からは不可。

即ち、バージョン「5.32 未満」から「5.61 以上」へ更新する場合は、
{5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上} と2段階で更新しなければなりません。


そして、その第1段階の **{5.32 未満 → 5.32}** へ更新する際、Starter Pack (S8.80-005.05) が
必要になります。

[注意事項 04]


下記条件を全て満たす装置に対して、Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新する場合、Starter Pack (S8.80-005.08) も必要になりますので、予め準備してください。

■条件

- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。
 - ・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
 - ・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)
 - ・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
 - ・ [NE3303-197] SAS コントローラ
- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「5.61 未満」である。

 ファームウェアバージョンの確認方法は、
 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。

1

 **Starter Pack (S8.80-005.08 未満)** を使ってファームウェア更新する場合、
 上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「**5.61**」を適用します。

但し、バージョン「**5.61 以上**」への更新には、下記制約があります。

[制約] バージョン「**5.61 以上**」への更新は、バージョン「**5.32 以上**」からのみ可能。
 バージョン「**5.32 未満**」からは不可。

即ち、バージョン「**5.32 未満**」から「**5.61 以上**」へ更新する場合は、
{5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上} と2段階で更新しなければなりません。

そして、その第2段階の **{5.32 → 5.61}** へ更新する際、**Starter Pack (S8.80-005.08)** が必要
 になります。

(参考) **Starter Pack (S8.80-005.08)** に、バージョン「**5.61**」が収録されています。

2

3

4

1


2

3. 準備

3 本作業では、対象本体装置以外に下記物品が必要となりますので、予めご準備ください。




4

5 **Table 3-1 必要となる物品**

物品	数量	備考
端末パソコン	1	本体装置に接続し、本体装置を操作するために使用します。  ご使用になる Starter Pack ファイル(iso ファイル)を、予め当該端末パソコンのローカルディスクに収録しておいてください。
ディスプレイ	1	本体装置に接続し、本体装置の画面として使用します。
LAN ケーブル	1	本体装置と端末パソコンを接続するために使用します。

6

7

 ヒント	<p>既に、本体装置のマネージメント専用 LAN コネクタ()を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されており、且つ下記物品或いは情報をご存じである場合、前記< Table 3-1 必要となる物品 >は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - iLO Web インターフェースにアクセスする端末 - iLO Web インターフェースの User Name と Password - iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレス
 重要	<p>ご使用になる Starter Pack ファイル(iso ファイル)を、予め iLO Web インターフェースへのアクセス端末のローカルディスクに収録しておいてください。</p>

8

9

10

3.1. 事前確認

11

12 **[事前確認 01]**

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

本書記載ファームウェア更新手順は、**Secure** ブートに対応していません。よって、本体装置の **Secure** ブートが有効になっている場合には、一旦無効に変更して頂き、ファームウェア更新作業終了後に有効に戻してください。

Secure ブートの現在の設定値は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Server Security → Secure Boot Settings → Current Secure Boot State}で確認できます。

Secure ブートの変更は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Server Security → Secure Boot Settings → Attempt Secure Boot}で行えます。

25 **[事前確認 02]**

IO 系デバイスにケーブル(*a)などが接続されている場合、それらケーブル(*a)接続状態を記録した上で、当該ケーブル(*a)を取り外してください。そして、ファームウェア更新作業終了後に、それらケーブル(*a)を元の接続状態に戻してください。

(*a) 本体装置内蔵 SAS ケーブルは対象外

1 **[事前確認 03]**

2 IO 系デバイスの PCIe Option ROM が"Disabled"に設定されている場合、IO 系デバイスのファームウェア
3 version を確認できない場合があります ("N/A"と表示される)。
4 その場合には、当該 IO 系デバイスの PCIe Option ROM 設定を一旦"Enabled"に変更して頂き、ファームウ
5 ェア更新作業終了後に"Disabled"に戻してください。

6
7 PCIe Option ROM 設定は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform
8 Configuration(RBSU) → PCIe Device Configuration → <PCIe デバイス (*a)>}で行えます。

9
10 (*a) PCIe Option ROM Disabled 設定時、PCIe デバイス表記は下表の通りになります。

モジュール	PCIe デバイス表記 (Option ROM Disabled 時)
RAID/SAS Controller	Storage Controller
NIC/LOM	Network Controller
FC Controller	PCIe Controller

11
12 **[事前確認 04]**

13 本書記載ファームウェア更新手順は、Trusted Platform Module(TPM)に対応しておりません。
14 そこで、対象本体装置に TPM が搭載されているか否かを確認してください。
15 そして、TPM が搭載されている場合、「TPM Visibility」設定を一旦[Hidden]に変更して頂き、ファームウェア
16 更新作業終了後に元の設定値に戻してください。

17
18 TPM 搭載有無は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU)
19 → Server Security → Trusted Platform Module Options → Current TPM State}で確認できます。

20
21 TPM Visibility 設定の変更は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform
22 Configuration(RBSU) → Server Security → Trusted Platform Module Options → Advanced Trusted
23 Platform Module Options → TPM Visibility}で行えます。

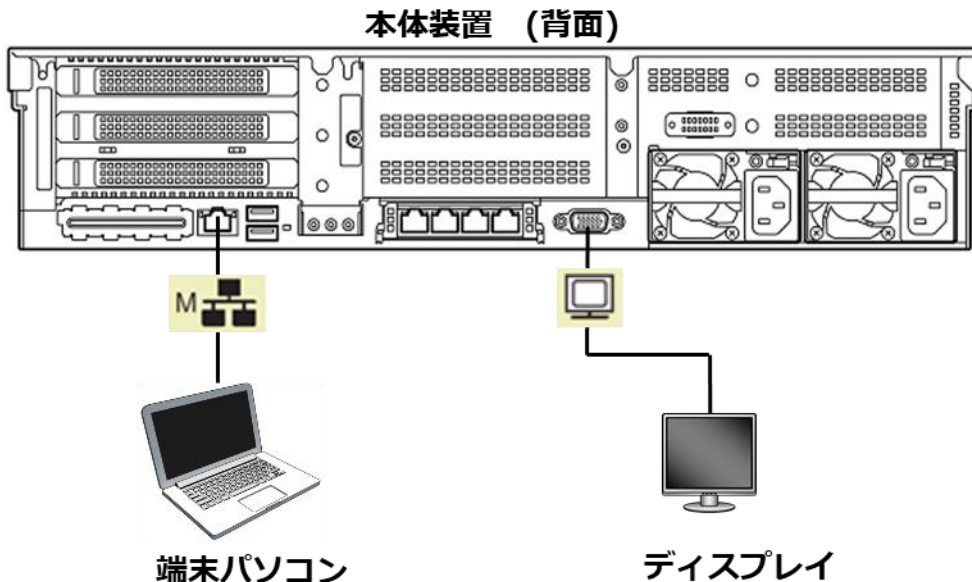
1

2 4. 接続

3 ご準備頂いた物品を下図のとおり本体装置に接続します。


4

5 **Figure 4-1 接続図**





6

7

 重要	端末パソコンと本体装置は、LAN ケーブルで直結させてください。
---	----------------------------------

8

 ヒント	既に、本体装置のマネージメント専用 LAN コネクタ()を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されている場合、そのままの接続環境で構いません。
--	---

9

10

11

1

2 5. 装置コンソール接続方法

3 本書記載のファームウェア更新手順では、本体装置に接続した端末パソコンから本体装置の iLO Web インターフェース
4 及び本体装置のリモートコンソールに接続して更新作業を行います。

5 また、本体装置内 iLO のリモートメディア機能を使って、**Starter Pack** を本体装置にマウントして更新作業を行います。

6

7 ここでは、iLO Web インターフェース接続方法、リモートコンソール接続方法、及び **Starter Pack** のマウント方法を記載
8 します。

9

10 5.1. iLO Web インターフェース接続方法

11

12

13 [step.a-01] iLO Web インターフェースへの接続情報の確認

14 A. iLO Web インターフェースの User Name と Password の確認

15 本体装置前面のスライドタグにある iLO ライセンスシール中に記載されている「User Name」と
16 「Password」を控えます。



17 既に、iLO Web インターフェースの User Name と Password をご存じである場合、本
18 作業は不要です。



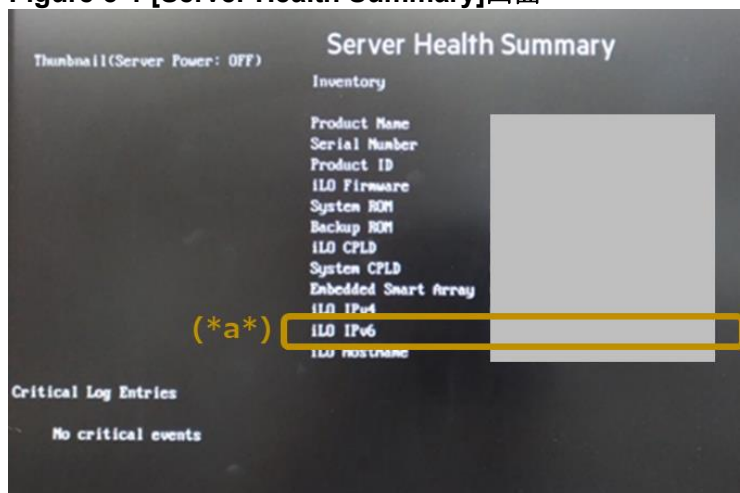
19 以降の作業で、この User Name と Password が必要になります。

19

20 B. iLO Web インターフェースの IP アドレス(IPv6)の確認


- 21 ① 本体装置の電源コードをコンセントに取り付けます。
- 22
- 23 ② **Server Health Summary** 画面をディスプレイに表示させます。
- 24 具体的には、前記①の後、本体装置前面の **POWER** ランプがアンバー色に点灯していることを
25 確認した上で、**UID** スイッチを押します。
- 26 そうすると、ディスプレイに下図画面が表示されますので、下図(*a*)箇所の「iLO IPv6」のアドレス
27 を控えます。
- 28
- 29

30 **Figure 5-1 [Server Health Summary]画面**




30


1
2

 ヒント	既に、iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレスをご存じである場合、本作業は不要です。
--	---


3

 ヒント	IPv6 の仕様として、セクションが"0"で始まる場合、"0"を省略して表示しても良いことになっています。 そのため、表示される IPv6 アドレスの各セクションが 4 桁ではない場合があります。その際は、各セクションが 4 桁となるように、セクションの先頭に"0"を付加して控えてください。 (例) 表示値: fe80::9618:82ff:fe71:2b4 控え値: fe80::9618:82ff:fe71:02b4
--	---

4

 ヒント	前記①の後、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯していた場合、本体装置の電源が ON されています。 その場合は、POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF します (スタンバイ状態にします)。 本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。
--	--

5

 ヒント	以降の作業で、この IPv6 アドレスが必要になります。
--	------------------------------

6

7 **[step.a-02] iLO Web インターフェースへの接続とログイン**

A. iLO Web インターフェースへの接続

8

- 9 ① 端末パソコンにて Web ブラウザ (Microsoft Edge 等) を起動し、前記作業で控えておいた iLO
- 10 Web インターフェースの IP アドレスをアドレスバー (①) に入力します。

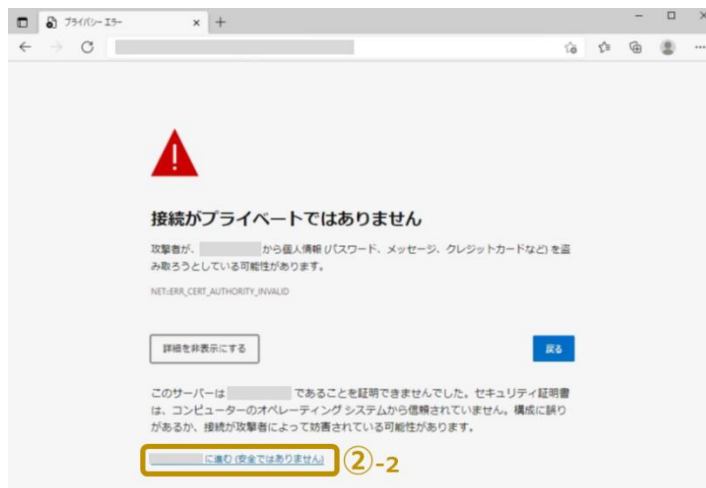
11

12 例) [https://\[abcd::efgh:ijkl:mnop:qrst\]/](https://[abcd::efgh:ijkl:mnop:qrst]/)



13

- 14 ② セキュリティ警告が表示された場合は、上記画面の「詳細情報」(②-1) をクリックします。
- 15 そうすると、下記画面表示になりますので、「xxxx に進む (安全ではありません)」(②-2) をクリック
- 16 してください。
- 17



1
2

B. iLO Web インターフェースへのログイン

iLO Web インターフェースに接続できると下記画面が表示されますので、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの User Name と Password を①箇所に入力し、「ログイン」ボタンを押します。

3
4
5
6



7
8
9

ログインに成功すると、下記画面に切り替わります。



10
11
12
13
14
15

1

2

5.2. リモートコンソール接続方法

3

4

5

[step.b-01] リモートコンソールの起動

6 iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起
7 動」タブ(②)をクリックします。そして、「.NET コンソール」ボタン(③)をクリックします。

8

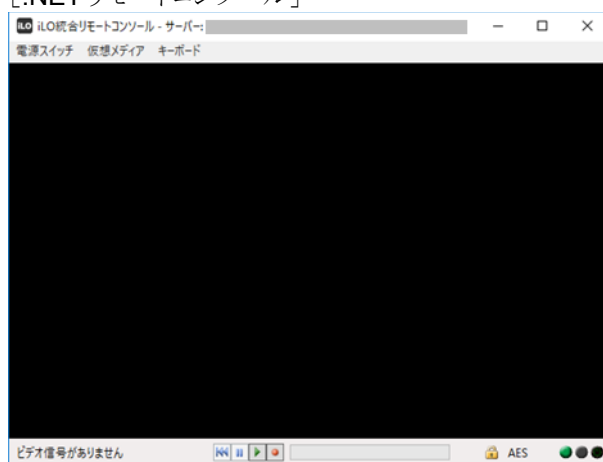
9

10 .NET リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

11


12

[.NET リモートコンソール]



13

14

	<p>「.NET リモートコンソール」が起動しない場合、「HTML5 統合リモートコンソール」或いは「Java 統合リモートコンソール」を起動させてください。 これらリモートコンソールの起動方法は、<8.2 リモートコンソール及び仮想メディア>を参照ください。</p>
---	--

15

16

17

18

19

1

2

5.3. Starter Pack のマウント方法

3

4

5

[step.c-01] Starter Pack のマウント

6

本体装置から Starter Pack ファイル(iso ファイル)が見えるようにします。

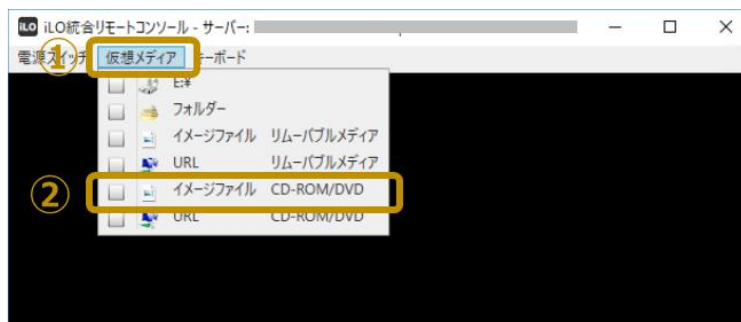
7

8

A. 仮想メディアの選択

9

リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD]を選択します。



10

11

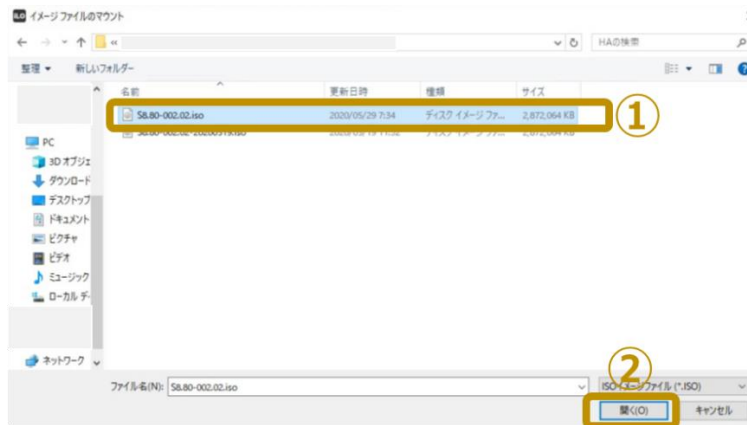
12

B. Starter Pack ファイルのマウント

13

ポップアップ表示された「イメージファイルのマウント」ダイアログにて、予め端末パソコン内に収録しておいた Starter Pack ファイル(iso ファイル)を選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。

14



15

16



上記「開く(O)」ボタン(②)をクリックしてからファイルマウントされるまで、約 1 分ほどかかります。

17

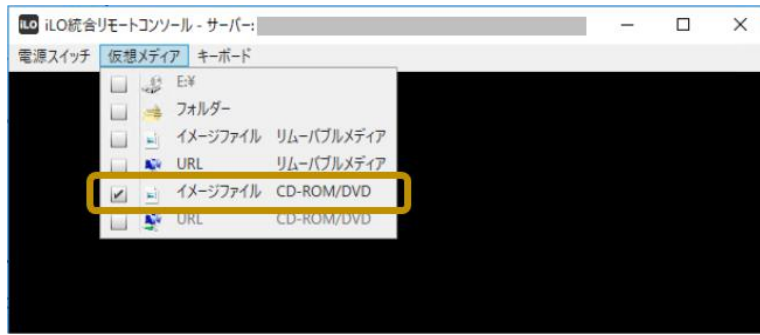
18

C. Starter Pack ファイルのマウントの確認

19

リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。

20





1
2
3
4
5


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18


6. ファームウェア更新手順

本体装置にインストールされているファームウェアの更新方法を記載します。

 重要	本作業を行う前に、本体装置の電源が OFF になっていることを確認してください。 具体的には、本体装置正面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認してください。
--	--

 重要	本ファームウェア更新手順の下記手順には、操作時間制約(10 秒以内)があります。 よって、予め、どのような操作時間制約なのかをご確認頂いた上で、ファームウェア更新を開始してください。
	<ul style="list-style-type: none"> - [step.1-07] Starter Pack の起動 - [step.2-05] Starter Pack の起動 - [step.0a-06] Starter Pack の起動 - [step.p-06] Starter Pack の起動

 ヒント	POWER ランプが消灯している場合、電源コードがコンセント或いは本体装置から外れている可能性がありますので、ご確認ください。 POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯している場合、本体装置の電源が ON されています。 POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF してください(スタンバイ状態にしてください)。 本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。
---	---

 ヒント	本体装置の Mother Board に収録される Syetem ROM は 2 バンク構成になっています。 そのため、再起動を跨いで FW 更新を 2 回実施する必要があります。 { FW 更新(1回目) → 再起動 → FW 更新(2 回目) }
---	---

[step.0-01] 事前ファームウェア更新作業

本 step では、ご使用になる Starter Pack を使ってファームウェア更新する前に、予め別の Starter Pack を使ってファームウェア更新しておく必要がある作業を記載します。

具体的には、下表<Table 6-1 事前ファームウェア更新作業条件及び次手順>の「条件及び次手順」欄に記載する条件を満たす場合は、「条件及び次手順」欄に記載する次手順を実施します。

Table 6-1 事前ファームウェア更新作業条件及び次手順

ケース	条件及び次手順								
0A	【条件】 下記全てを満たす。 <ul style="list-style-type: none"> - 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <table border="1" style="margin-left: 20px; background-color: #f0f0f0;"> <tr> <td>• [NE3303-190]</td> <td>RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td>• [NE3303-191]</td> <td>RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td>• [NE3303-201]</td> <td>RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td>• [NE3303-197]</td> <td>SAS コントローラ</td> </tr> </table> - 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「5.32 未満」である。 	• [NE3303-190]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-191]	RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-201]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-197]	SAS コントローラ
• [NE3303-190]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-191]	RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-201]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-197]	SAS コントローラ								



ファームウェアバージョンの確認方法は、
 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。

【次手順】 <6.1【ケース 0A】事前ファームウェア更新手順>

1

2 [step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

3 端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインしま
 4 す。

5 具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。
 6

7 [step.1-02] iLO 設定の事前確認

8 事前確認項目はございません。次の作業に進んでください。
 9

10 [step.1-03] リモートコンソールの起動

11 iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。

12 具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。
 13

14 [step.1-04] Starter Pack ファイルのマウント

15 予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにしま
 16 す。

17 具体的な手順は、前記<5.3Starter Pack のマウント方法>を参照してください。
 18

19 [step.1-05] 本体装置 電源 ON

20 本体装置の電源を ON します。

21 具体的には、下記何れかの操作を行います。

22

23 - 本体装置前面の POWER ボタンを押す。

24

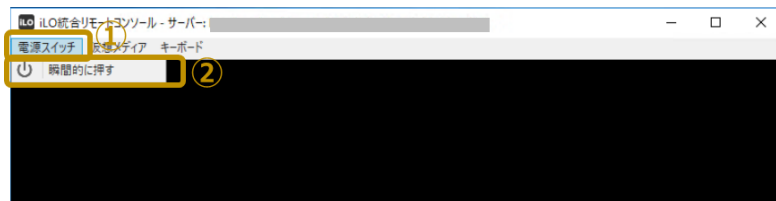
25 - iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



26

27

28 - リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



29

30



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

31

1 **[step.1-06] Boot Menu の起動**

- 2 本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot
3 Menu を起動します。



- 4
5

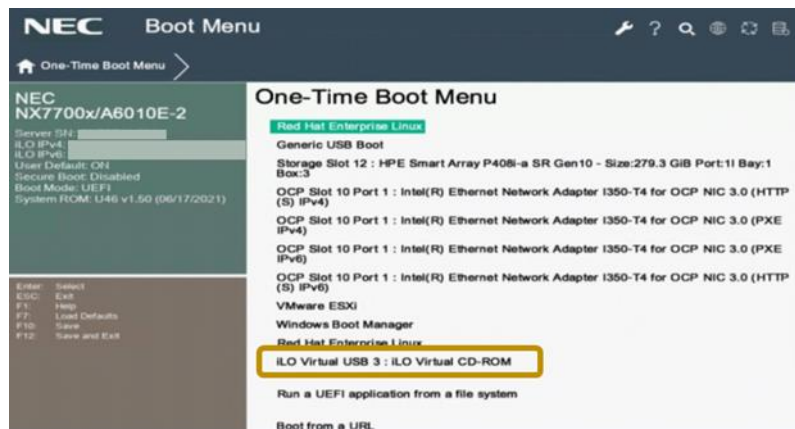
6 **[step.1-07] Starter Pack の起動**

- 7

A. 起動デバイスの選択

- 8

9 リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-
10 ROM」を選択します。

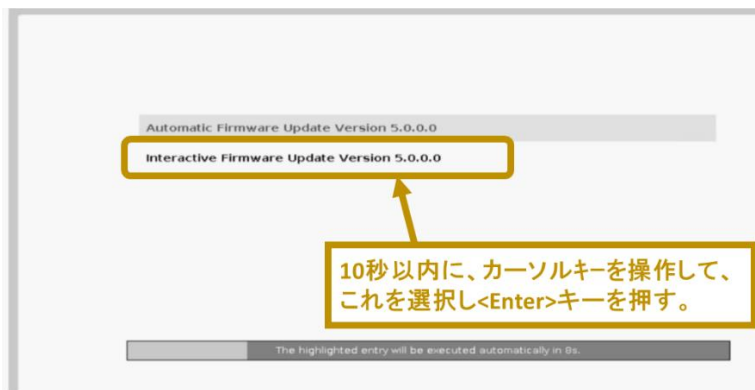


- 11
12


B. Interactive モードの選択

- 13

14 下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware
15 Update …」を選択し、<Enter キー>を押します。



1
2

 重要	10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。
--	---

3

C. ソフトウェア使用許諾


4

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。

5
6



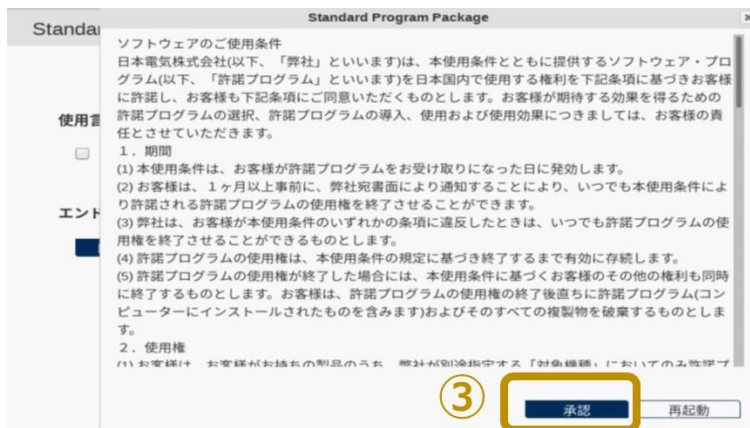
7
8

 ヒント	上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。
---	----------------------------

9

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。

10
11



12
13
14

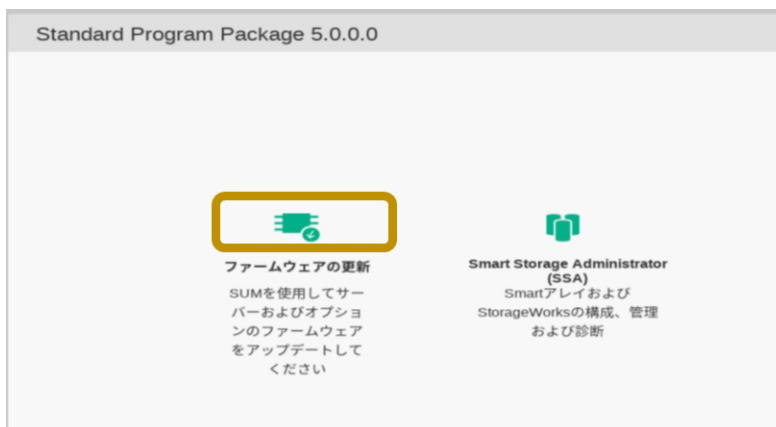
最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




1
2

3 **[step.1-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動**


4 下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



5
6

 重要	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	---

7

 ヒント	<p>下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。</p>
---	--



1

2 **[step.1-09] ファームウェアインベントリの完了待ち**

3 下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。
 4 下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

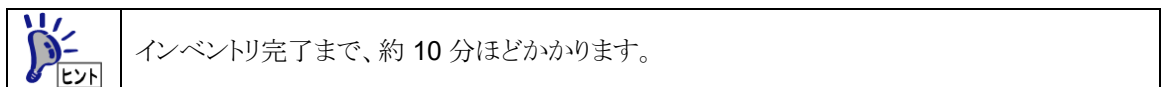
5

6

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



7



8

9 **[step.1-10] ファームウェアの選択**

A. ファームウェアの選択 (その1)

10

11


12

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	<input checked="" type="checkbox"/>	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH4000JDx8A, EH4050JDx8B, and EH0600JDx8C Drives (firmware-hba-icba60770-HPD5-3.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<input checked="" type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ix-0.2.0.11-2.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-80-1.30-1.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpc-1.0.4-1.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-20a1306882-4.21-1.1.x86_64)	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	<input type="checkbox"/>	ファームウェア	推奨	2.65	1.98	必

 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新必須なファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 6-2 更新必須対象ファームウェア(パッケージ) ~1 回目~>に記載します。

Table 6-2 更新必須対象ファームウェア(パッケージ) ~1 回目~

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-system-oem-u46-...) (OEM-U46-...)	Mother Board (System ROM)	
(firmware-ic-...) (OEM-IECon10Plus-...)	Mother Board (IE)	
(firmware-cps-...)	Mother Board (SPS)	
(firmware-ilo5-...)	Mother Board (iLO)	
(firmware-ilo5-lpk-...)	Mother Board (language pack)	
(firmware-smartarray-f7c0-...) (HPE_SR_Gen10_...) (HPE_E208e-p-...)	RAID/SAS [NE3303-190/191/201/197]	(*01), (*03), (*05), (*06)
(HPE_SRXXX_Gen10P_...) (HPE_SR416_SR932_Gen10P_...)	RAID [NE3303-237/238]	(*01), (*03)
(firmware-9041739931-...) (HPE_NS204i_...)	OS ブート専用ボード [NE3303-239]	(*01), (*03)
(firmware-nic-is-intel-...)	NIC (1G, T) [NE3304-206/209]	(*01)
(bcm-...-pup)	NIC (10G, T) [NE3304-217/219]	(*01)
(HPE_E810_XXVDA2_SD_OCP_...)	NIC (10/25G, SFP) [NE3304-208]	(*01)
(HPE_E810_XXVDA2_SD_...)	NIC (10/25G, SFP) [NE3304-212]	(*01)
(firmware-fc-emulex-...)	FC [NE3390-163/164/171/172]	(*01)
(firmware-fc-qlogic-...)	FC [NE3390-165]	(*01)
(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。		

- (*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。
- (*03) 使用する Starter Pack に依って、何れかのパッケージ名称となります。
- (*05) 本体装置構成あるいは使用する Starter Pack に依っては、複数のパッケージ名称が表示される場合があります。
- (*06) **必ず下記「重要 A」及び「重要 B」をお読みください。**

1
2
3
4

「手順 2 レビュー」画面において、更新必須対象ファームウェア(パッケージ)の「コンポーネントを選択」欄を確認します。



5
6
7
8
9
10

「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



重要 A Starter Pack S8.80-005.08 未満を使用している場合、

「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-smartarray-f7c0 …)、(HPE_SR_Gen10 …) 或いは (HPE_E208e-p …) の文字列を含むパッケージ(*01)に対して、「コンポーネントを選択」欄を、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

(firmware-smartarray-f7c0 …)、(HPE_SR_Gen10 …) 或いは (HPE_E208e-p …) の文字列を含んでいるパッケージのここを、**選択** または **強制** に変更する。

(firmware-smartarray-f7c0 …)、(HPE_SR_Gen10 …) 或いは (HPE_E208e-p …) の文字列を含むパッケージ(*01)については、以降の<[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業>にてファームウェア更新します。

ここで「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」にしてしまうと、当該 FW の更新に失敗する場合があります。

(*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。

11

重要 B Starter Pack S8.80-005.08 を使用している場合、

「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(HPE_SR_Gen10 …) 及び (HPE_E208e-p …) の文字列を含むパッケージが表示された場合、どちらか一方のパッケージの「コンポーネントを選択」欄を、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更し、もう一方のパッケージの「コンポーネントを選択」欄を、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
選択済み	HPE_E208e-p_Gen11_5.61_A	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須
選択	HPE_SR_Gen10_5.61_C	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須

(HPE_SR_Gen10_…) 及び (HPE_E208e-p_…) の文字列を含んでいるパッケージが表示された場合、
 どちらか一方のパッケージのここを、**選択済み** または **強制** に変更し、
 もう一方のパッケージのここを、**選択** または **強制** に変更する。

ヒント どちらか一方のパッケージだけが、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に設定できます。

1

重要 「手順 2 レビュー」画面において、★更新必須対象以外★の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄の設定を変更しないでください。

ヒント 設定変更しないことに因り、更新必須対象以外のファームウェア(パッケージ)も更新される場合がありますが、これは意図した更新であり、問題ありません。

2

B. ファームウェアの展開

3

4

5

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。

強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x84) - HPE Smart Array P408-p, P408e-p, P408-a, P408-c, E208e-p, E208e-c, E208e-a, P408-ab, P408e-m, P204-c, P204-b, P815-a and P415e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-47c07b0b00-1.98-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	2.65	1.98	必須
強制	Online Flash for Linux - Server Platform Services (SPS) Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-sps-04.01.04.251.2.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	04.01.04.251	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-0em-030-2.00_2019_02_02-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	U30 2.34 - (04/08/2020)	U30 2.00 - (02/02/2019)	必須

警告/アラート

戻る **展開** 最初からやり直す

6

7

8

[step.1-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

A. ファームウェア展開の完了待ち

9

10

11

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。

手順 1 プランニング | 手順 2 レビュー | **手順 3 展開**

展開

localhost 展開が進行中

Deploying the component firmware-fc-emulex-2019.03.01.1.29.x86_64.rpm HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x84)


最初からやり直す 中止 再起動

12

13

ヒント 全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 40 分ほどかかります。


14



重要


Mother Board(iLO)或いは Mother Board(language pack)の展開が完了すると、iLO がリセットされ、下記のようなポップアップ画面が表示され、リモートコンソール及び iLO Web インターフェースが切斷されます。(最大 3 回 iLO がリセットされます)

IRCセッションが閉じています

 このリモート コンソール セッションは、ファームウェアのアップデートのために、終了しました。

OK

IRC - iLOリセット中

 iLOをリセット中です。30秒後に再度接続してください。

OK

よって、下記手順を実施し、iLO Web コンソールへの再接続・ログイン、リモートコンソールの再起動、Starter Pack の再マウントを行ってください。

1. <5.1 iLO Web インターフェース接続方法>
2. <5.2 リモートコンソール接続方法>
3. <5.3 Starter Pack のマウント方法>

また、下記ポップアップ画面が表示されましたら、端末パソコンの Web ブラウザのキャッシュをクリアしてから、iLO Web コンソールに再接続・ログインしてください。

Web ページからのメッセージ

 iLOファームウェアのバージョンが変更されました。続行する前に、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。

OK

1

B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。


展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



8

9

10



重要

Starter Pack S8.80-005.08 或いは S8.80-005.09 を使用している場合、

本体装置構成によっては、(firmware-ff3fa73ca1-...) の文字列を含むパッケージのステータスアイコンが赤色になる場合がありますが、システム運用上問題ありませんので、無視してください。

(ステータスアイコンが緑色であるとみなしてください)



1

C. Starter Pack のマウント状態の確認

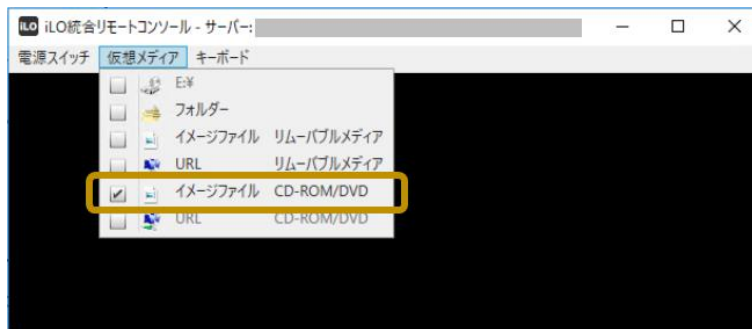
2

3

4

5

リモートコンソールにおいて、**Starter Pack** のマウント状態を確認します。
 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]に
 チェック(レ点)が付いていることを確認します。



6

7

8

9

10

もしチェック(レ点)が付いていなければ、前記<5.3Starter Pack のマウント方法>を参照して、再度
Starter Pack をマウントします。

D. 本体装置の再起動

11

12

13

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。
 そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



14

15

16

[step.2-01] System Utilities の起動


17

18


再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して **System Utilities** を起
 動します。



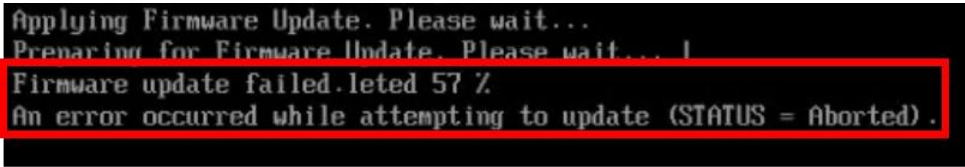
1
2
3

 **ヒント** 上記 POST 画面表示のタイミングで、最大 2 回再起動する場合があります。これは、展開されたファームウェアを反映させるための動作であり、この処理に最大約 30 分ほどかかります。


4

 **ヒント** 当該 POST のタイミングで、下記(A)及び(B)の現象が起きる場合があります。

(A) POST 画面に、下図赤線枠内のメッセージが表示される。



(B) iLO Web インターフェースに、下図赤背景色のメッセージがポップアップ表示される。

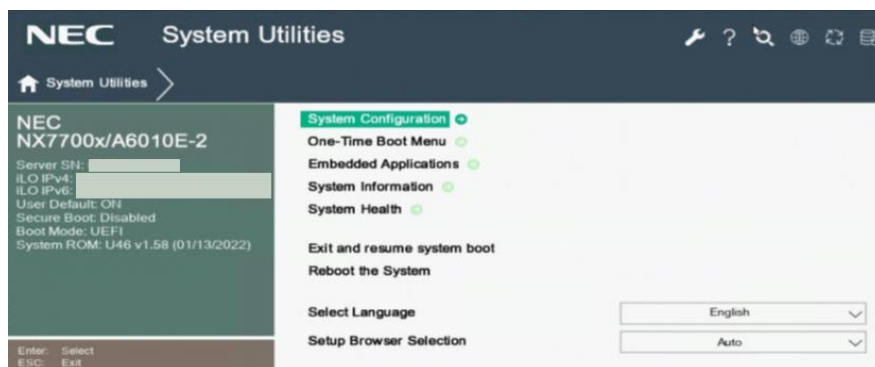


もしこれら現象が起きた場合でも、このタイミングでは何も操作しないでください。

これら現象に対する対処は、以降の<[step.2-02] ファームウェア更新の結果確認>にて行います。

5
6
7

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



1
2

3 **[step.2-02] ファームウェア更新の結果確認**


4 **A. ファームウェア更新エラー有無の確認**

5 iLO Web インターフェースにおいて、下図赤背景色のメッセージがポップアップ表示されているか否
6 かを確認します。



7
8
9
10
11
12
13
14
15

- 上記赤背景色のメッセージがポップアップ表示されているならば、
<7.1[TS-01] iLO Web インターフェースに、ファームウェアアップデート失敗の旨のメッセージが表示される>に記載されている対処を実施してください。
- 上記赤背景色のメッセージがポップアップ表示されていないならば、
次の「B. ファームウェア完了の確認」に進みます。

	<p>下記 2 種類のファームウェアは、前記<[step.2-01] System Utilities の起動>のタイミングでファームウェア更新が行われます。 よって、このタイミングで、下記 2 種類のファームウェア更新が正常に行われたか否かを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Server Platform Services (SPS) Firmware - Innovation Engine (IE) Firmware
---	---

16

17 **B. ファームウェア更新完了の確認**

18 この時点におけるファームウェア更新が全て完了しているか否かを確認します。

19 具体的には、iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」
20 (①)をクリックし、「インストールキュー」タブ(②)をクリックします。
21 そして、表示されているタスク一覧(③)内の「状態」列(④)を確認します。
22



1
2
3
4
5

- 「状態」が「保留」或いは「進行中」であるタスクが存在する場合、全てのタスクが「完了」するまで、待ち合わせます。

重要


待ち合わせしている際、本体装置が数回再起動する場合があります。再起動すると、リモートコンソールが下記 POST 画面表示になりますので、<F9>キーを押して **System Utilities** を起動してください。

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。

6
7
8
9
10
11
12
13
14

そして、『全てのタスクが「完了」し、且つ System Utilities が起動している』ならば、次の< [step.2-03] "Redundant System ROM" ファームウェアバージョンの確認 >に進みます。


- 「状態」が「保留」或いは「進行中」であるタスクが存在しない、あるいはタスク自体が存在しない場合は、次の< [step.2-03] "Redundant System ROM" ファームウェアバージョンの確認 >に進みます。

 ファームウェア更新は、基本、<[step.1-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認>の「A. ファームウェア展開の完了待ち」のタイミングで行われます。

しかし、ファームウェアによっては、上記タイミングにて、ファームウェア更新パッケージを iLO のインストールキューに登録し、その後の本体装置再起動後にファームウェア更新する場合があります。

本作業は、この「本体装置再起動後にファームウェア更新する」場合に適応させるものです。

1
2 **[step.2-03] "Redundant System ROM" ファームウェアバージョンの確認**

 本体装置の Mother Board に収録される System ROM は 2 バンク構成になっています。そこで、このタイミングで、Redundant バンク側の System ROM ファームウェアの更新要否を判断します。

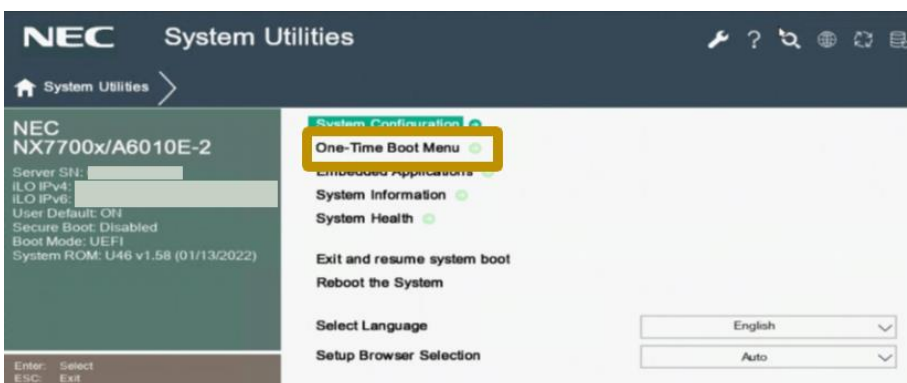
3
4 <8.1.1iLO Web コンソールでの確認方法>を参照して、下記ファームウェア名のバージョンを確認しま
5 す。

ファームウェア名	ファームウェアバージョン	参考情報 (対応デバイス)
System ROM		Mother Board (System ROM)
Redundant System ROM		

- 6
7
- "Redundant System ROM" バージョンが "System ROM" バージョン★未満★であるならば、Redundant バンク側の System ROM ファームウェア更新が必要です。次の<[step.2-04] Boot Menu の起動>に進みます。
 - "Redundant System ROM" バージョンが "System ROM" バージョン★以上★であるならば、Redundant バンク側の System ROM ファームウェア更新は不要です。以降の<[step.3-02] Starter Pack ファイルのマウント解除>に進みます。
- 8
9
10
11
12
13
14

15 **[step.2-04] Boot Menu の起動**

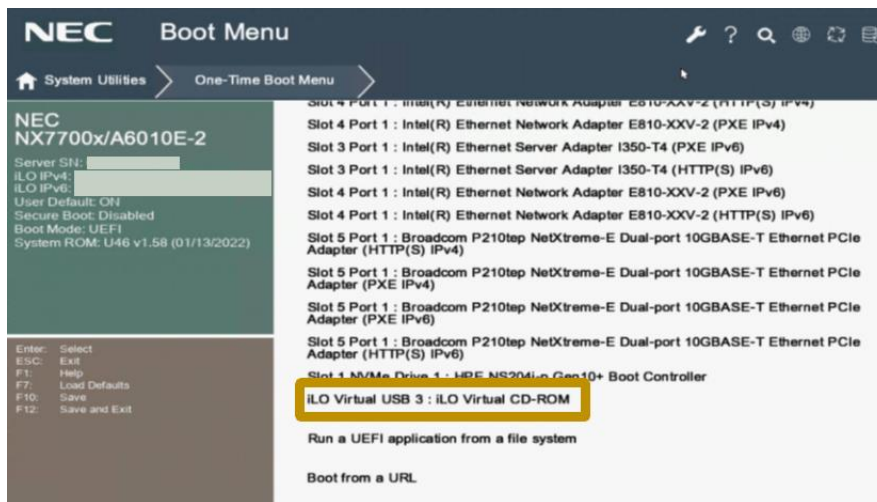
16 リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「One-Time Boot Menu」を選択し
17 ます。



18
19
20 **[step.2-05] Starter Pack の起動**

A. 起動デバイスの選択

21
22 リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-
23 ROM」を選択します。



1
2


B. Interactive モードの選択

3
4
5

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update …」を選択し、<Enter キー>を押します。



6
7
8

 重要	10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。
--	---

9


C. ソフトウェア使用許諾

10
11
12

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



13
14

	上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。
---	----------------------------

1
2
3

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。



4
5
6

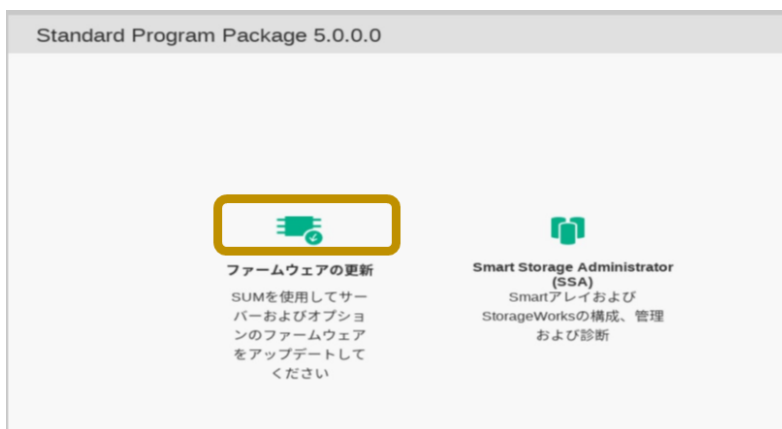
最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




7
8

[step.2-06] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



11
12

	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update</p>
---	--

1

Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。
もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。

2

3 **[step.2-07] ファームウェアインベントリの完了待ち**

4 下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。
5 下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

6

7

①

ローカルホストガイドアップデート

① ベースラインまたはインストールセット 且Oインストールキュー

ベースラインの選択

(オプション)このノードに適用する追加済みのベースラインおよびまたは追加パッケージを選択してください。SUMが実行中の位置がデフォルトとして使用されます。

現在選択されているベースライン

現在の追加パッケージ

異なるベースラインの割り当て

② 終了

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。

8

ローカルホストガイドアップデート

終了

アクション ▼

手順 1 インベントリ 手順 2 レビュー 手順 3 完了

ベースラインおよびノードのインベントリ

▼ ベースラインのインベントリ

Standard Program Package ベースラインが正常に追加されました コンポーネント合計 651

▼ ローカルホストのインベントリ

localhost インベントリ完了 ① アップデートが必要です。

② 次へ 中止 最初からやり直す 再起動

9

① インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

10 **[step.2-08] ファームウェアの選択**

11

12

13

A. ファームウェアの選択


下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。



1

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
選択済み	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01.1.29.x86_64)	●	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH000JDXBA, EH0450JDXBB, and EH000JDXBC Drives (firmware-hd0-1c0ab97f0-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
強制	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	0.2.0.11	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	2.23.10	必須
強制	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4.1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	1.0.4	いいえ
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	4.21	必須
	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.08	必

2
3
4

 **ヒント** 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

5
6
7
8
9
10

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 6-3 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~2回目~>に記載します。

Table 6-3 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~2回目~

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-system-oem-u46- ...) (OEM.U46_...)	Mother Board (System ROM)	(*01)
(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。		
(*01) 使用する Starter Pack に依って、何れかのパッケージ名称となります。		

11
12
13

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



14
15
16
17
18

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



[step.2-09] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



1
2

C. 本体装置の再起動

3
4
5

下記「手順3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。
そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



6
7

[step.3-01] System Utilities の起動

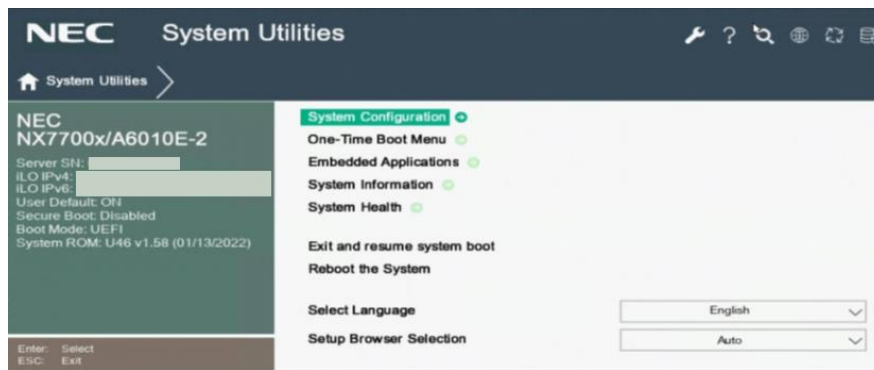
9
10

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



11
12
13

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



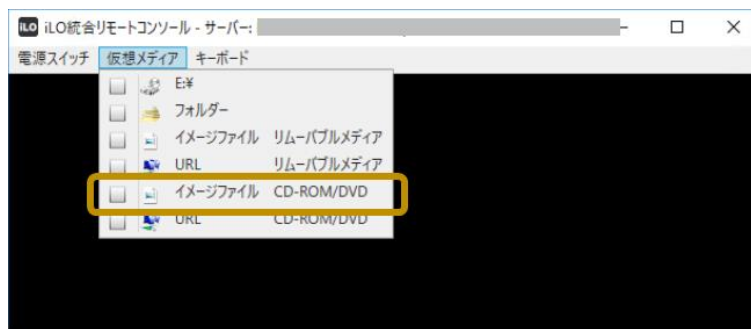
1
2

3 **[step.3-02] Starter Pack ファイルのマウント解除**

4 リモートコンソールにおいて、Starter Pack ファイルのマウントを解除します。
5 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェッ
6 ク(レ点)が付いていないか否かを確認します。

7
8

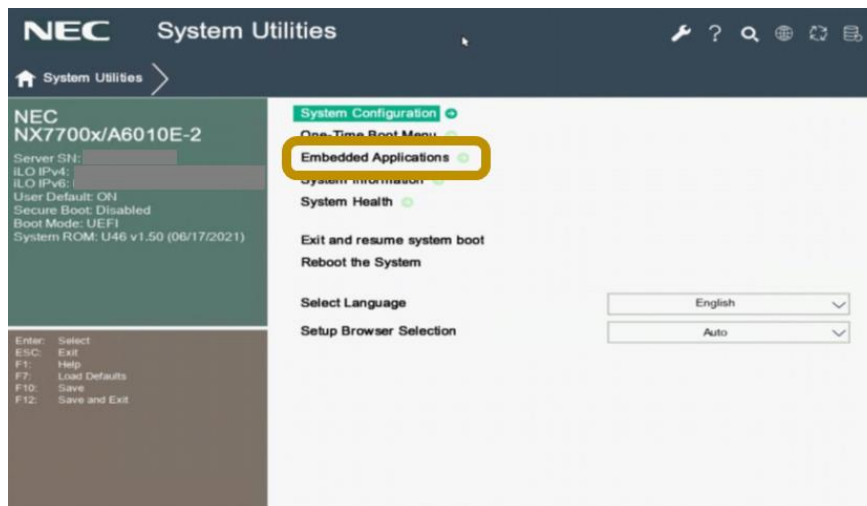
もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



9
10

11 **[step.3-03] UEFI Shell の起動**

12 リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 →
13 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



14
15

16 **[step.3-04] 本体装置の電源 OFF**

17 リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

18

Shell> reset -s

1

```

UEFI Interactive Shell v2.2
EDK II
UEFI v2.60 (NEC, 0x00020000)
Press any key in 0 seconds for User Physical Presence.
User Physically Present: No!
Shell>
Shell>
Shell>
Shell> reset -s_

```

2
34 **[step.3-05] 本体装置の AC OFF → ON**

5 FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

6

A. 本体装置の AC OFF

7

8 本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての
9 電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。

10



本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯し
す。
電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

11

B. 本体装置の AC ON

12

13 本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し
14 込み AC ON させてください。

15

16 そして、本体装置が AC ON 完了するまで待ち合わせます。

17

18 具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待ち合わせます。

18



本体装置によっては、AC-Link 機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON
される場合があります。
電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯しま
す。
電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを 4 秒以上押し
続けて、本体装置を電源 OFF してください。

19

20

21 **[step.4-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン**22 端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインしま
23 す。

24

25 具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

26 **[step.4-02] iLO の設定**

A. タイムゾーンの設定

27

- ① iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「iLO 専用ネットワークポート」(①)をクリック
し、「SNTP」タブ(②)をクリックします。
そして、「タイムゾーン」項目(③)にてタイムゾーンを選択したのち、「適用」ボタン(④)をクリックし
ます。

28

29

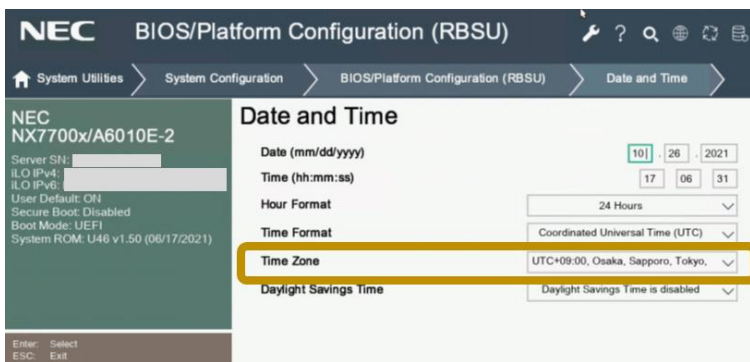
30

31

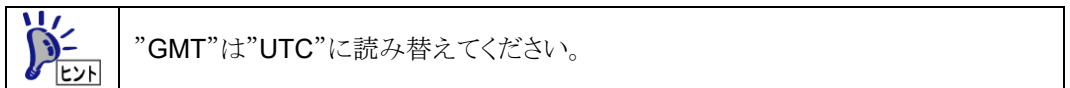


1
2
3
4

選択するタイムゾーンは、{System Utilities: [System Configuration] → [BIOS/Platform Configuration (RBSU)] → [Date and Time]}の「Time Zone」と同じタイムゾーンです。



5
6

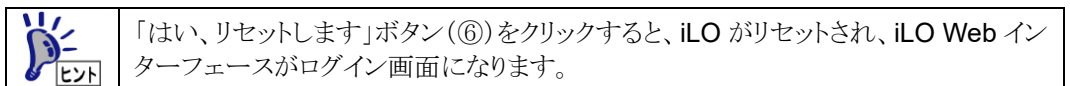


7
8
9
10
11

- ⑤ 「適用」ボタンをクリックすると、iLO Web インターフェースの画面上部に、「Reset iLO」ボタン (⑤) が表示されますので、当該ボタンをクリックします。すると、画面右側に「iLO をリセット」フレームが表示されますので、「はい、リセットします」ボタン (⑥) をクリックします。



12
13



14
15

1
2
3
4
5
6

[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業

下表<Table 6-4 追加ファームウェア更新作業条件及び次手順>の「条件及び次手順」欄に記載する条件を満たす場合は、「条件及び次手順」欄に記載する次手順を実施します。



Table 6-4 追加ファームウェア更新作業条件及び次手順


ケース	条件及び次手順								
P	<p>【条件】 下記全てを満たす。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> - Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。 - 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">• [NE3303-190]</td> <td style="padding: 2px;">RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">• [NE3303-191]</td> <td style="padding: 2px;">RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">• [NE3303-201]</td> <td style="padding: 2px;">RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">• [NE3303-197]</td> <td style="padding: 2px;">SAS コントローラ</td> </tr> </table> - 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「5.61 未満」である。 <hr/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>ファームウェアバージョンの確認方法は、 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。</p> </div> <hr/> <p>【次手順】 <6.2 【ケース P】追加ファームウェア更新手順></p>	• [NE3303-190]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-191]	RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-201]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-197]	SAS コントローラ
• [NE3303-190]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-191]	RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-201]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-197]	SAS コントローラ								

7
8
9
10
11
12
13
14
15
16

以上で、ファームウェア更新作業は終了です。

6.1. 【ケース 0A】 事前ファームウェア更新手順

 重要	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6) ・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6) ・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6) ・ [NE3303-197] SAS コントローラ - 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「5.32 未満」である。
 ヒント	<p>ファームウェアバージョンの確認方法は、 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。</p>

 ヒント	<p>上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「5.61 以上」を適用します。</p> <p>但し、バージョン「5.61 以上」への更新には、下記制約があります。</p> <p>[制約] バージョン「5.61 以上」への更新は、バージョン「5.32 以上」からのみ可能。 バージョン「5.32 未満」からは不可。</p> <p>即ち、バージョン「5.32 未満」から「5.61 以上」へ更新する場合は、 {5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上} と 2 段階で更新しなければなりません。</p> <p>そして、本章記載作業は、その第 1 段階の {5.32 未満 → 5.32} の更新作業になります。</p>
---	---

[step.0a-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。
具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

[step.0a-02] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

[step.0a-03] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.05) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

[step.0a-04] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。
具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。

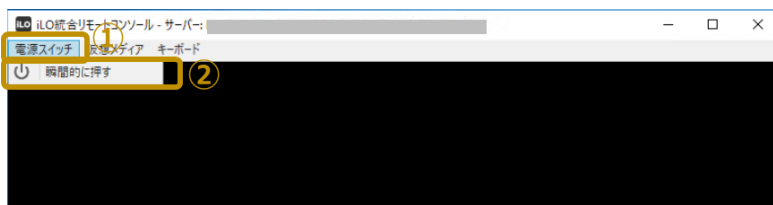
1
2

- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。




3
4
5

- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



6
7

	リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。
---	---

8

[step.0a-05] Boot Menu の起動

9
10
11

本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



12
13

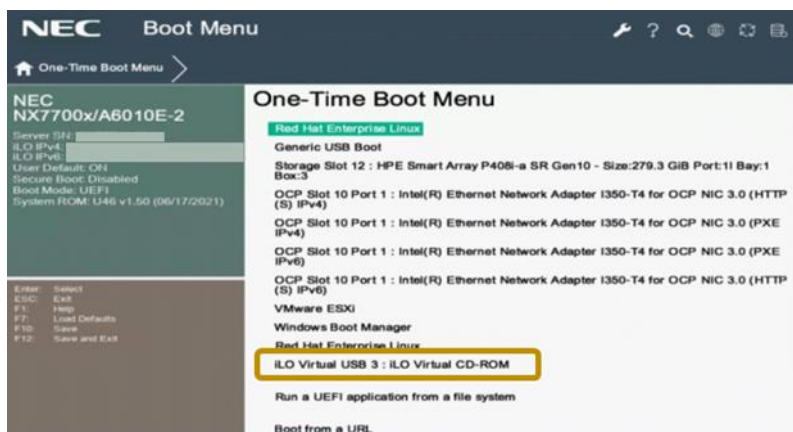
[step.0a-06] Starter Pack の起動

14
15

A. 起動デバイスの選択

16
17
18

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3: iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



1
2

B. Interactive モードの選択

3
4
5

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update …」を選択し、<Enter キー>を押します。



6
7

重要 10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

8

C. ソフトウェア使用許諾

9
10
11

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



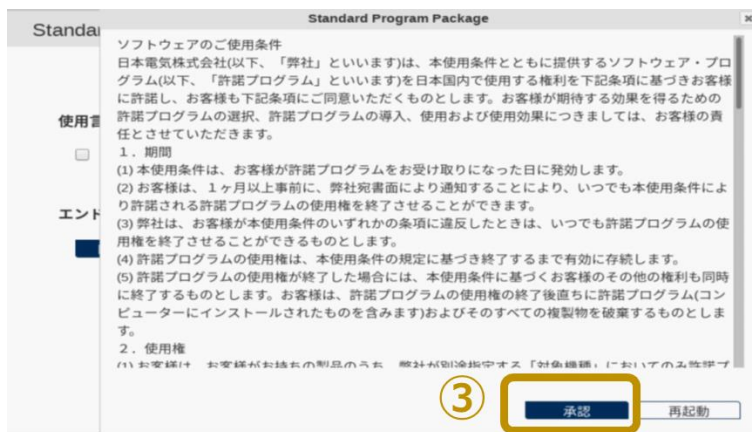
12
13

ヒント 上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。

14

1
2

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。



3
4
5

最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。

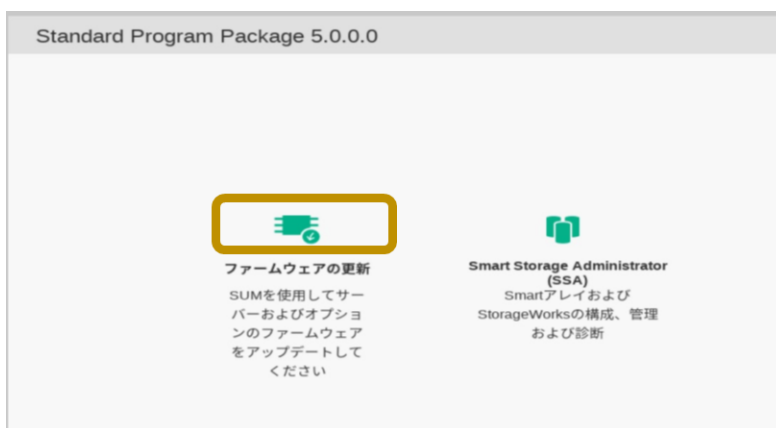


6
7


[step.0a-07] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

9

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。




10
11

 重要	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p>
--	---


1

もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。



ヒント

下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。



2

3 **[step.0a-08] ファームウェアインベントリの完了待ち**

4 下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。

5 下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。


6

7

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



8



ヒント

インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

9

10 **[step.0a-09] ファームウェアの選択**

A. ファームウェアの選択

11

12

13


下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。



1

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
選択済み	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0600JDX8A, EH0450JDX8B, and EH0600JDX8C Drives (firmware-h09-1c9ab9770-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
強制	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	0.2.0.11	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-i05-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ko-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	2.23.10	必須
強制	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4.1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	1.0.4	いいえ
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b68862-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	4.21	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.08	必

2
3
4

 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

5
6
7
8
9
10

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記< Table 6-5 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~事前(OA)~>に記載します。

Table 6-5 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~事前(OA)~

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-smartarray-f7c0...)	RAID/SAS [NE3303-190/191/201/197]	(*01)

(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

(*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。

11
12
13

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



14
15
16
17
18

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



19

1
2
3
4

- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



5
6

B. ファームウェアの展開

7
8
9

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



10
11

[step.0a-10] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

A. ファームウェア展開の完了待ち

13
14
15

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



16
17

全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

18

B. ファームウェア展開の結果確認

19
20
21
22
23
24

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



1
2

C. 本体装置の再起動

下記「手順3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。
そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。

3
4
5



6
7

[step.0a-11] System Utilities の起動

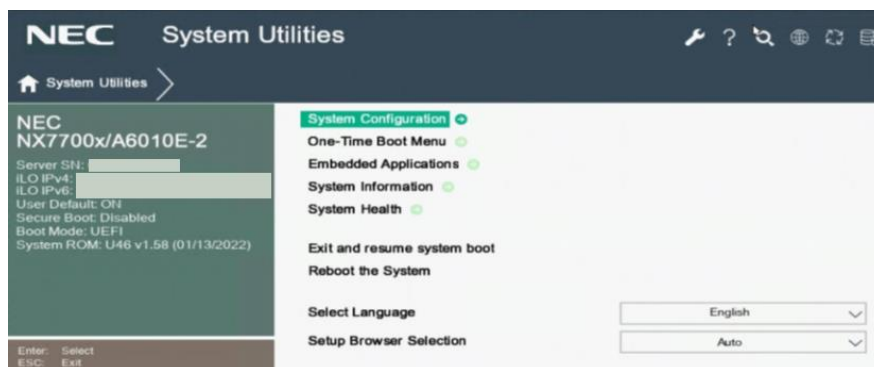
再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。

10



11
12
13

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。

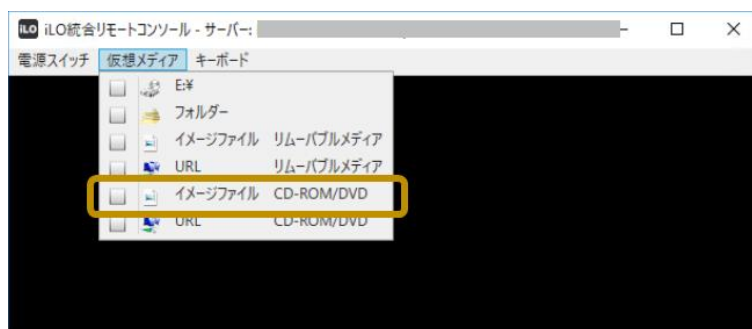


1
2

3 **[step.0a-12] Starter Pack ファイルのマウント解除**

4 リモートコンソールにおいて、Starter Pack ファイルのマウントを解除します。
5 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェッ
6 ク(レ点)が付いていないか否かを確認します。

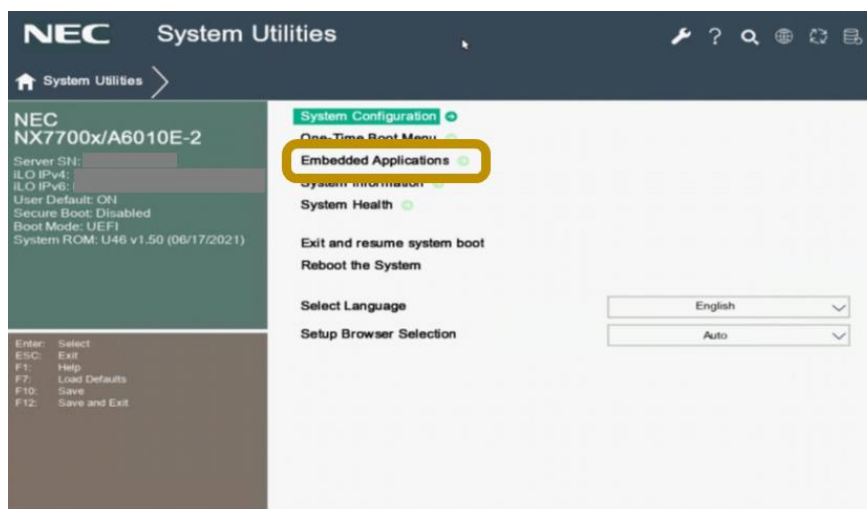
7
8 もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



9
10

11 **[step.0a-13] UEFI Shell の起動**

12 リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 →
13 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



14
15

16 **[step.0a-14] 本体装置の電源 OFF**

17 リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

18

Shell> reset -s

1

```
UEFI Interactive Shell v2.2
EDK II
UEFI v2.60 (NEC, 0x00020000)
Press any key in 0 seconds for User Physical Presence.
User Physically Present: No!
Shell>
Shell>
Shell>
Shell> reset -s_
```

2

3

4

5

6



以上で、【ケース 0A】事前ファームウェア更新作業は終了です。


7

8

9

6.2. 【ケース P】追加ファームウェア更新手順

 重要	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。 - 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6) ・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6) ・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6) ・ [NE3303-197] SAS コントローラ - 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「5.61 未満」である。
 ヒント	<p>ファームウェアバージョンの確認方法は、 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。</p>

 ヒント	<p>Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新する場合、上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「5.61」を適用します。</p> <p>但し、バージョン「5.61 以上」への更新には、下記制約があります。</p> <p>[制約] バージョン「5.61 以上」への更新は、バージョン「5.32 以上」からのみ可能。 バージョン「5.32 未満」からは不可。</p> <p>即ち、バージョン「5.32 未満」から「5.61 以上」へ更新する場合は、 {5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上} と2段階で更新しなければなりません。</p> <p>そして、その第2段階の {5.32 → 5.61} へ更新する際、Starter Pack (S8.80-005.08) が必要になります。</p> <p>(参考) Starter Pack (S8.80-005.08) に、バージョン「5.61」が収録されています。</p>
--	--

[step.p-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。
具体的な手順は、前記<5.1 iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

[step.p-02] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

[step.p-03] Starter Pack ファイルのマウント

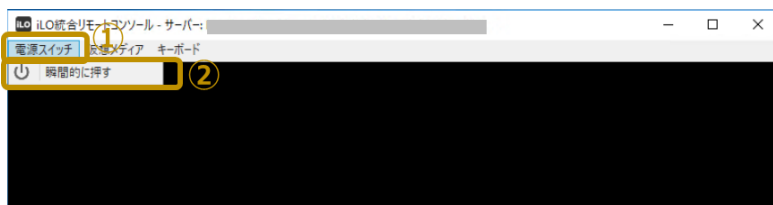
予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.08) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。


1 **[step.p-04] 本体装置 電源 ON**

- 2 本体装置の電源を ON します。
 3 具体的には、下記何れかの操作を行います。
 4
 5 - 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
 6
 7 - iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



- 8
 9
 10 - リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



	リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。
---	---

11
 12

13

14 **[step.p-05] Boot Menu の起動**

- 15 本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot
 16 Menu を起動します。



17
 18

1 [step.p-06] Starter Pack の起動

2

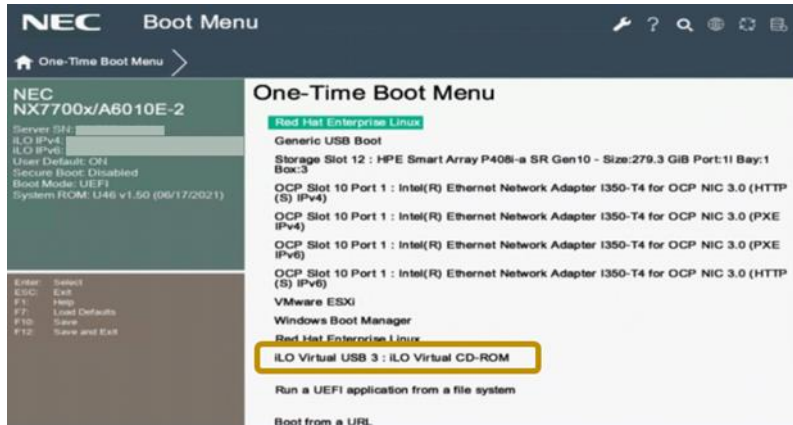
A. 起動デバイスの選択

3

4

5

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



6

7

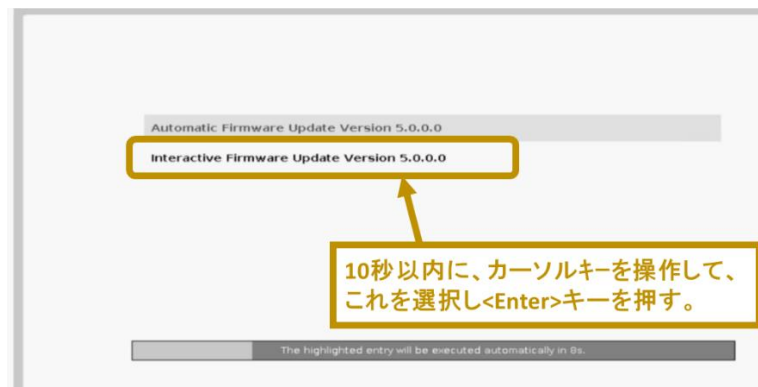
B. Interactive モードの選択

8

9


10

下記画面が表示されたならば、★10秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。



11

12

 重要	10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update ...」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。
--	---

13

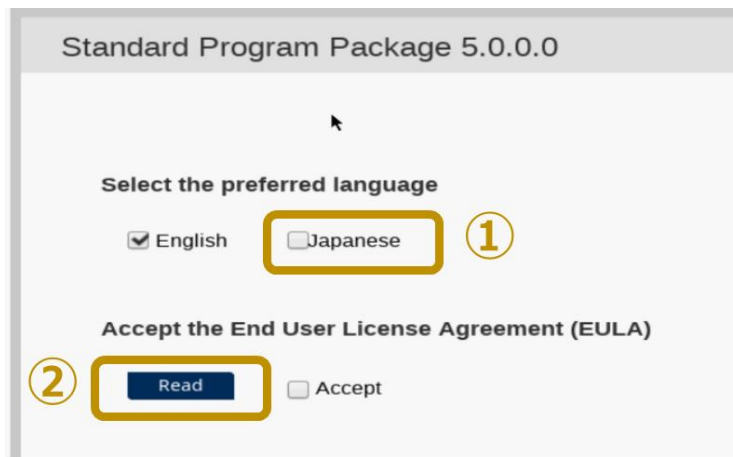
C. ソフトウェア使用許諾

14

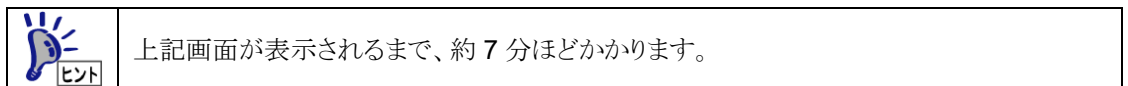
15

16

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。

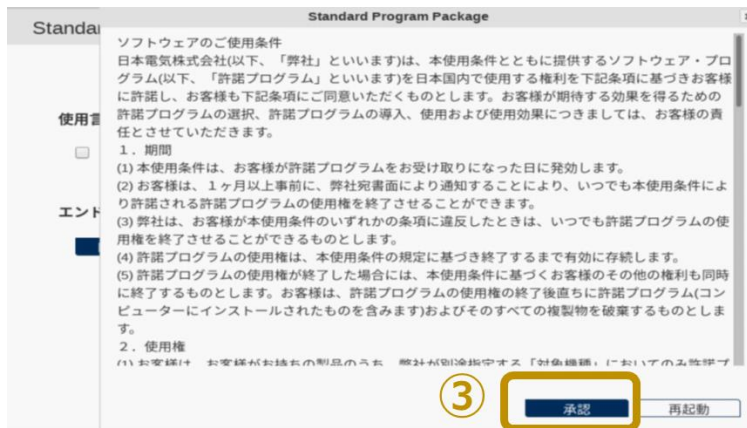


1
2



3
4
5

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。



6
7
8

最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。

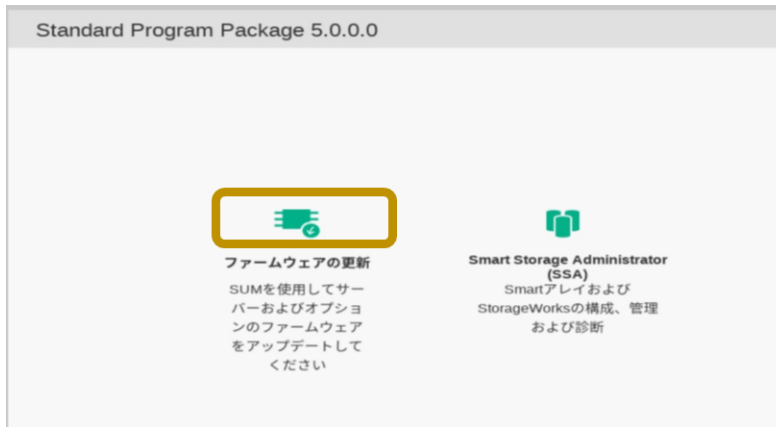


9
10


11 [step.p-07] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

12 下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。

1
2



3

 重要	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	--

4

 ヒント	<p>下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。</p>


5 **[step.p-08] ファームウェアインベントリの完了待ち**

6 下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。
 7 下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

8
 9 ①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



1



インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

2

3 [step.p-09] ファームウェアの選択

A. ファームウェアの選択

4

5 下記「手順2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、
6 更新するファームウェアを選択します。




7

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	●	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0200JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hba-icba69770-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<input checked="" type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ic-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb/s SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-3de1306882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.98	必須

8

9

10



上記「手順2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

11

12

13 更新するファームウェア(パッケージ)を、下記< Table 6-6 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(P)~>に記載します。

14

15

16

Table 6-6 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(P)~

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(HPE_SR_Gen10_...) (HPE_E208e-p_...)	RAID/SAS [NE3303-190/191/201/197]	(*02)

(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

(*02) 何れかのパッケージ名称、或いは両方のパッケージ名称が表示されます。

1
2
3

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



4
5
6
7
8

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



9
10

重要 更新対象ファームウェア(パッケージ)が複数表示されている場合は、

- 何れか 1 つのファームウェア(パッケージ)のみ **選択済み** または **強制** に変更(設定)し、
- その他ファームウェア(パッケージ)は、**選択** または **強制** に変更(設定)してください。

11
12
13
14

- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



15
16

それ以外のパッケージのここを、
 または に変更する。

(HPE_SR_Gen10_...) あるいは (HPE_E208e-p_...) の文字列を含んでいる
 パッケージの何れか1つのここを または に変更(設定)し、
 他1つのここを または に変更(設定)する。

1
2
3
4
5

B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。

6
7
8

[step.p-10] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。

12
13

ヒント 全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

14

B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

15
16
17

1
2
3

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



4
5

C. 本体装置の再起動

6
7
8

下記「手順3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



9
10

[step.p-11] System Utilities の起動

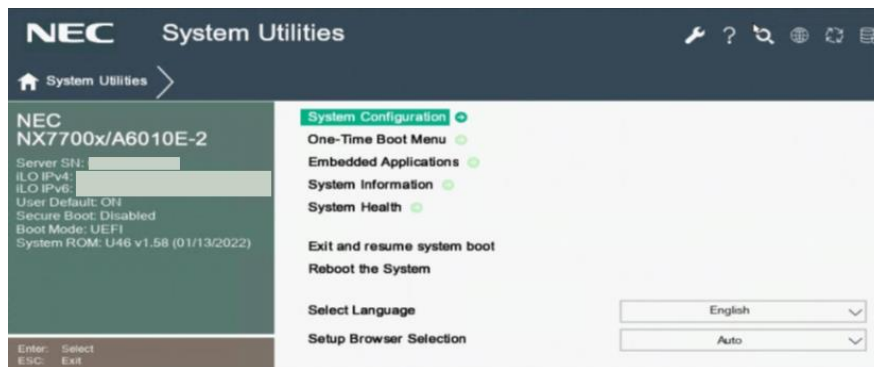
12
13

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



1
2
3

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



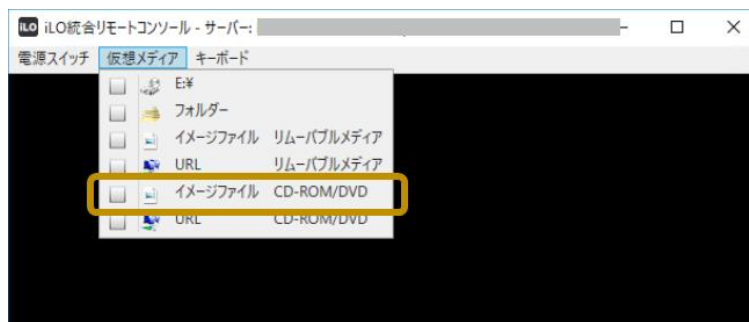
4
5

[step.p-12] Starter Pack ファイルのマウント解除

リモートコンソールにおいて、Starter Pack ファイルのマウントを解除します。
具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

9
10
11

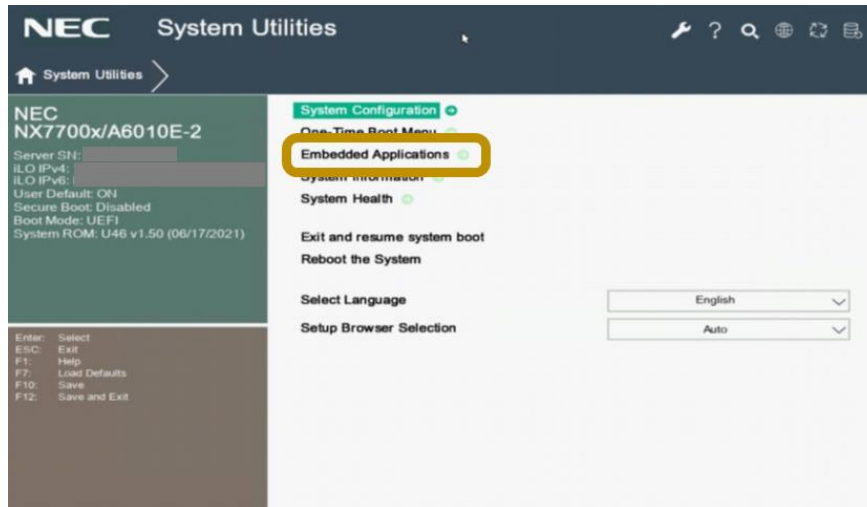
もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



12
13

1 [step.p-13] UEFI Shell の起動

- 2 リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 →
3 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



4
5

6 [step.p-14] 本体装置の電源 OFF

- 7 リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

8

```
Shell> reset -s
```

9



10
11

12 [step.p-15] 本体装置の AC OFF → ON

- 13 FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

14

A. 本体装置の AC OFF

15

16 本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての
17 電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。

18



本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯しま
す。
電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

19

B. 本体装置の AC ON

20

21 本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し
22 込み AC ON させてください。

23

24 そして、本体装置が AC ON 完了するまで待ち合わせます。

25

具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待ち合わせます。

26



本体装置によっては、AC-Link 機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON される場合があります。
電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。
電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置を電源 OFF してください。

1
2
3
4
5
6
7

以上で、【ケース P】追加ファームウェア更新作業は終了です。

1

2 7. トラブルシューティング

3

4 **Table 7-1** トラブルシューティング一覧

No.	トラブル概要
TS-01	iLO Web インターフェースに、ファームウェアアップデート失敗の旨のメッセージが表示される

5

6

7 7.1. [TS-01] iLO Web インターフェースに、ファームウェアアップデート失敗の旨のメッセージが表示される

8

9 7.1.1. 現象

使用 Starter Pack	全て
発生タイミング (*a)	[step.2-02] ファームウェア更新の結果確認
(*a) 対象ファームウェア更新ガイドにおいて、現象が起きた手順箇所を表す。	

10

11


iLO Web インターフェースにおいて、下図赤背景色のメッセージがポップアップ表示されている。



12

13

14

 ヒント	前記「発生タイミング」で当該現象が起きている場合、下記何れかのファームウェア更新が失敗したことになります。 - Server Platform Services (SPS) Firmware - Innovation Engine (IE) Firmware 尚、更新失敗は、POST 時における更新モジュール実行タイミングに依るものであり、ハードウェア故障ではありません。
--	--

15

16 7.1.2. 対処

17 更新失敗したファームウェアに対し、更新リトライを行います。
 18 具体的な手順は下記の通りです。

19

20

21 [step.TS01-01] 本体装置電源 OFF

22 リモートコンソールに System Utilities 画面が表示されている状態ですので、下記操作を行い、本体装置
 23 を電源 OFF します。

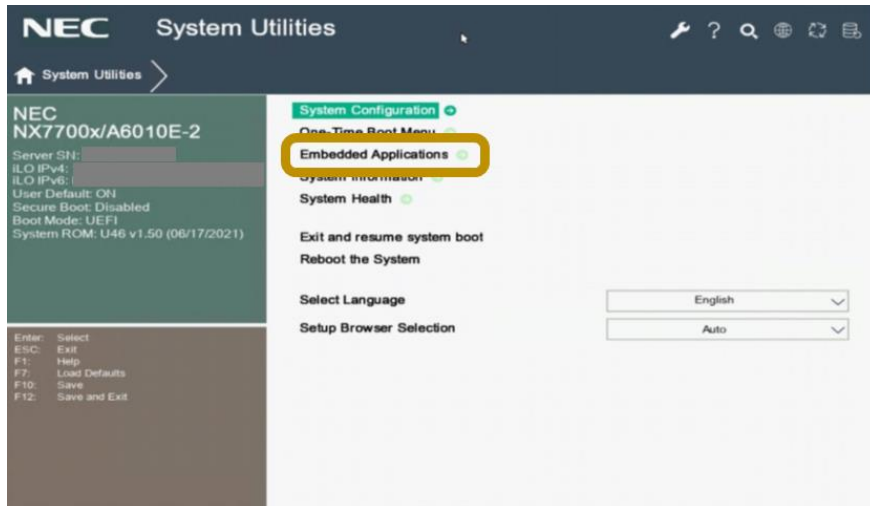
24

A. UEFI Shell の起動

25

26 リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 →

1 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



2
3

B. 本体装置の電源 OFF

4
5
6
7

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

Shell> reset -s

8



9
10

[step.TS01-02] 更新失敗ファームウェアコンポーネントの特定

A. 更新失敗タスク情報の表示

12
13
14
15

iLO Web コンソールのメニューフレームにて、「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「インストールキュー」タブ(②)をクリックします。
そして、「状態」欄が「例外」と表示されているタスクの「名前」欄辺り(③)をクリックします。



16
17

B. 更新失敗ファームウェアコンポーネントの特定

- 1
2 下記のようなタスク情報がポップアップ表示されますので、「コンポーネント名」と「ファイル名」(①)
3 を控えます。



4
5

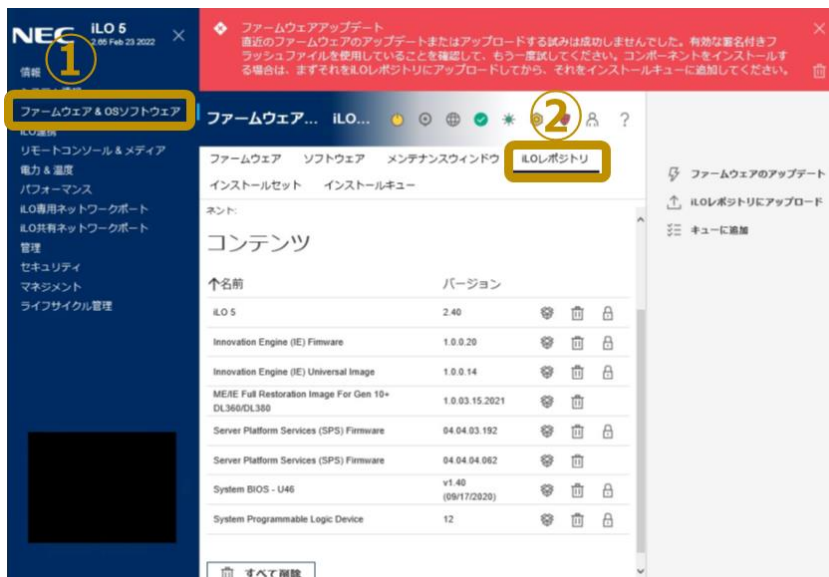
コンポーネント名	
ファイル名	

- 6
7 控え終わりましたら、ポップアップ画面の右上「X」印(②)をクリックして、ポップアップ画面を閉じます。
8

9 **[step.TS01-03] インストールするファームウェアコンポーネントの特定**

10 **A. iLO レポジトリの表示**

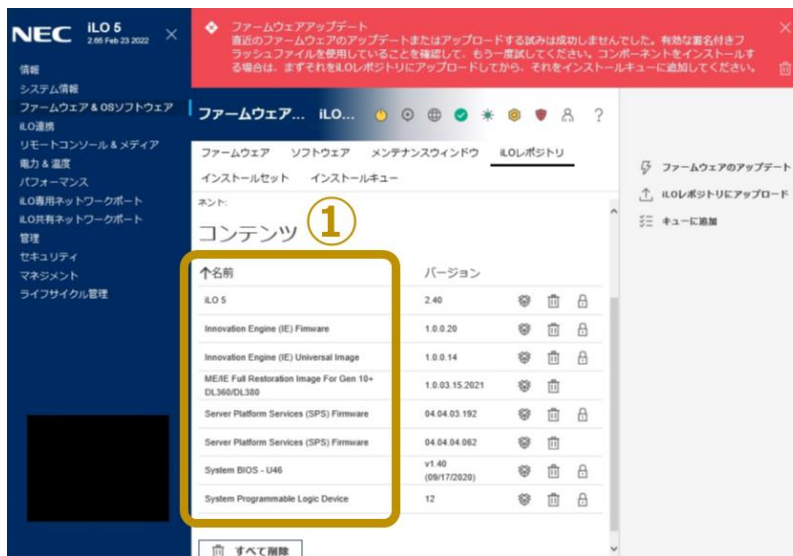
11 iLO Web コンソールのメニューフレームにて、「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、
12 「iLO レポジトリ」タブ(②)をクリックします。



13 **B. インストールするファームウェアコンポーネントの特定**

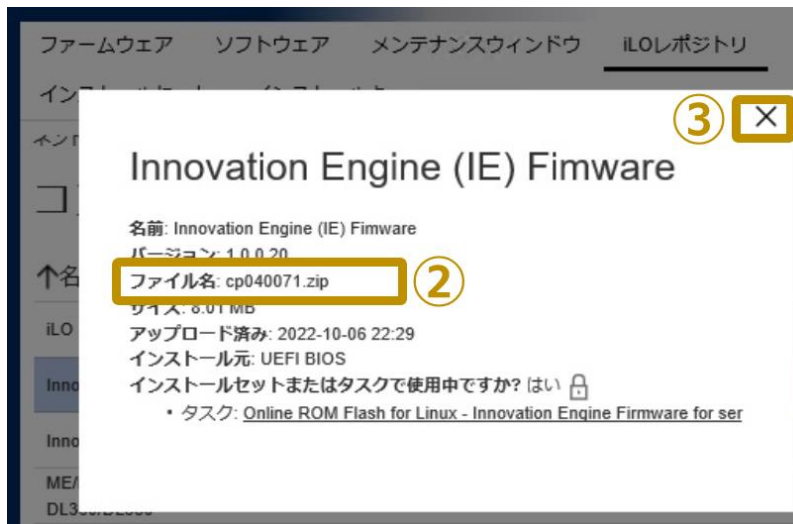
14
15 「iLO レポジトリ」タブの「コンテンツ」一覧の中から、前記<[step.TS01-02] 更新失敗ファームウェアコン
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

具体的には、
まず、「コンテンツ」一覧の「名前」欄(①)に表示されているコンポーネント名と、前記<[step.TS01-
02] 更新失敗ファームウェアコンポーネントの特定>にて控えたコンポーネント名を見比べます。
そして、一致するコンポーネント名をクリックします。




1
2
3
4
5
6

そうすると、下記のようなコンポーネント情報画面がポップアップ表示されますので、当該コンポーネント情報画面に表示されている「ファイル名」(②)と、前記<[step.TS01-02] 更新失敗ファームウェアコンポーネントの特定>にて控えたファイル名を見比べます。




7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

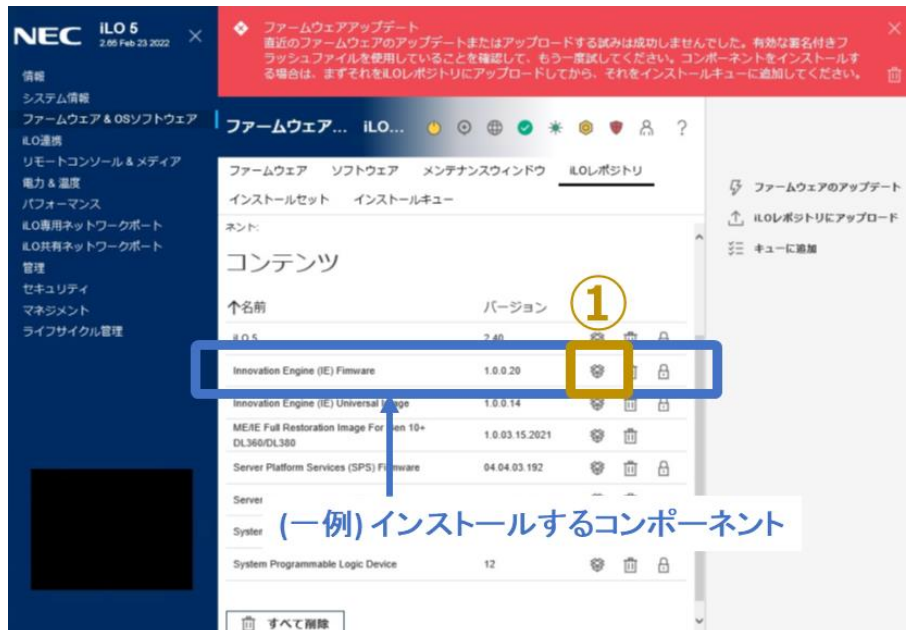
- ファイル名が一致するならば、当該コンポーネントが”インストールするファームウェアコンポーネント”です。
ポップアップ画面の右上「X」印(③)をクリックしてポップアップ画面を閉じた後、次の<[step.TS01-04] インストールするファームウェアコンポーネントのインストールキューへの追加>に進みます。
- ファイル名が一致しないならば、当該コンポーネントは”インストールするファームウェアコンポーネント”ではありません。
ポップアップ画面の右上「X」印(③)をクリックしてポップアップ画面を閉じた後、再度、「iLO レポジトリ」タブの「コンテンツ」一覧から、同一コンポーネント名の別コンポーネントを選択します。

 ヒント	「iLO レポジトリ」タブの「コンテンツ」一覧(①)には、同一コンポーネント名であるコンポーネントが複数存在する場合があります。
---	--

21

1 **[step.TS01-04] インストールするファームウェアコンポーネントのインストールキューへの追加**

2 「iLO レポジトリ」タブの「コンテンツ」一覧において、前記<[step.TS01-03] インストールするファームウェア
3 コンポーネントの特定>で特定した”インストールするファームウェアコンポーネント”の  アイコン(①)
4 をクリックします。



5
6
7 そうすると、iLO Web コンソール画面の右側に、「インストールコンポーネント」フレームがポップアップ表示
8 されますので、「はい、キューの最後に追加」(②)をクリックします。




9
10
11 その後、iLO Web コンソールの「ファームウェア & OS ソフトウェア」→「インストールキュー」タブ画面に、”
12 インストールするファームウェアコンポーネント”のタスクが追加されたことを確認します。(③)



1
2

3 **[step.TS01-05] 更新失敗ファームウェアコンポーネントタスクの消去**

4 iLO Web コンソールのメニューフレームにて、「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「インス
5 トールキュー」タブ(②)をクリックします。

6 そして、「状態」欄が「例外」と表示されているタスク(③)の右端に在る  アイコンをクリックします。



7
8
9
10
11

そうすると、iLO Web コンソール画面の右側に、「タスクの削除」フレームがポップアップ表示されますので、「はい、削除」(⑤)をクリックします。




12
13
14
15
16

最後に、「インストールキュー」タブ画面において、「状態」欄が「例外」と表示されているタスクが存在しないことを確認した上で(⑥)、iLO Web インターフェース画面上部に表示されている赤背景色メッセージの右上の「X」印(⑦)をクリックし、当該メッセージを消去します。



1
2

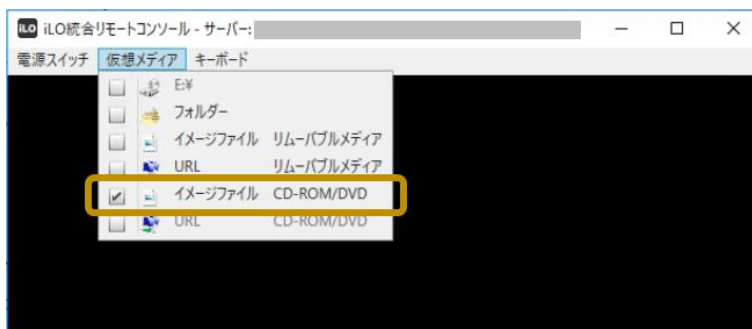
 例外状態のタスクが残ったままだと、新たにインストールキューに追加したタスクが実行されません。

3

[step.TS01-06] Starter Pack のマウント状態の確認

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウント状態を確認します。
 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。

4
5
6
7



8
9

もしチェック(レ点)が付いていなければ、前記<5.3Starter Pack のマウント方法>を参照して、再度 Starter Pack をマウントします。

10
11
12

[step.TS01-07] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。
 具体的には、下記何れかの操作を行います。

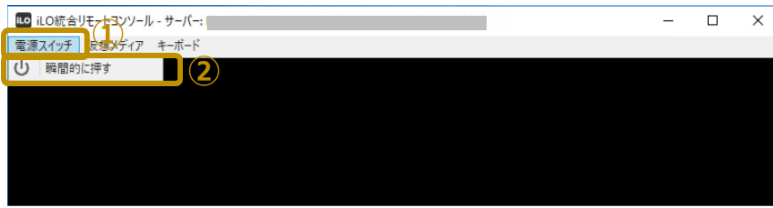
13
14
15
16
17
18
19

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。




20
21
22

- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



1
2

 ヒント リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

3

[step.TS01-08] System Utilities の起動

4

5

本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。


6



7

8

9

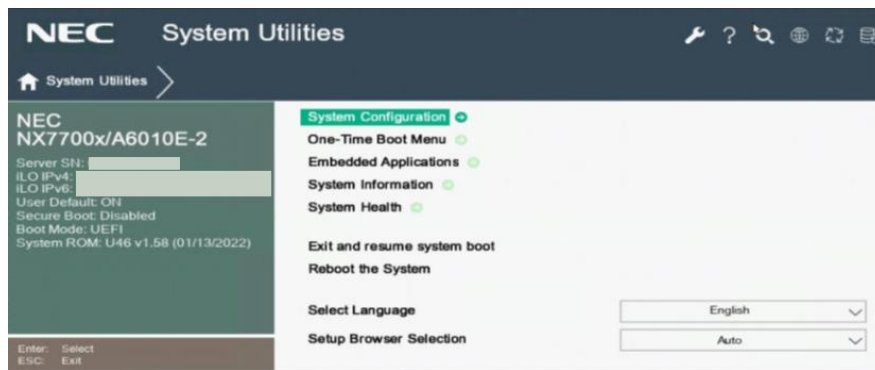
 ヒント 上記 POST 画面表示のタイミングで、最大 2 回再起動する場合があります。これは、前記<[step.TS01-04] インストールするファームウェアコンポーネントのインストールキューへの追加>において、インストールキューに追加したファームウェアコンポーネントを適用・反映させるための動作であり、この処理に最大約 30 分ほどかかります。

10

11

12

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

以上で、本現象に対する対処は完了です。

前記<6 ファームウェア更新手順>に戻り、<[step.2-02] ファームウェア更新の結果確認>の「B. ファームウェア完了の確認」からファームウェア更新を再開してください。

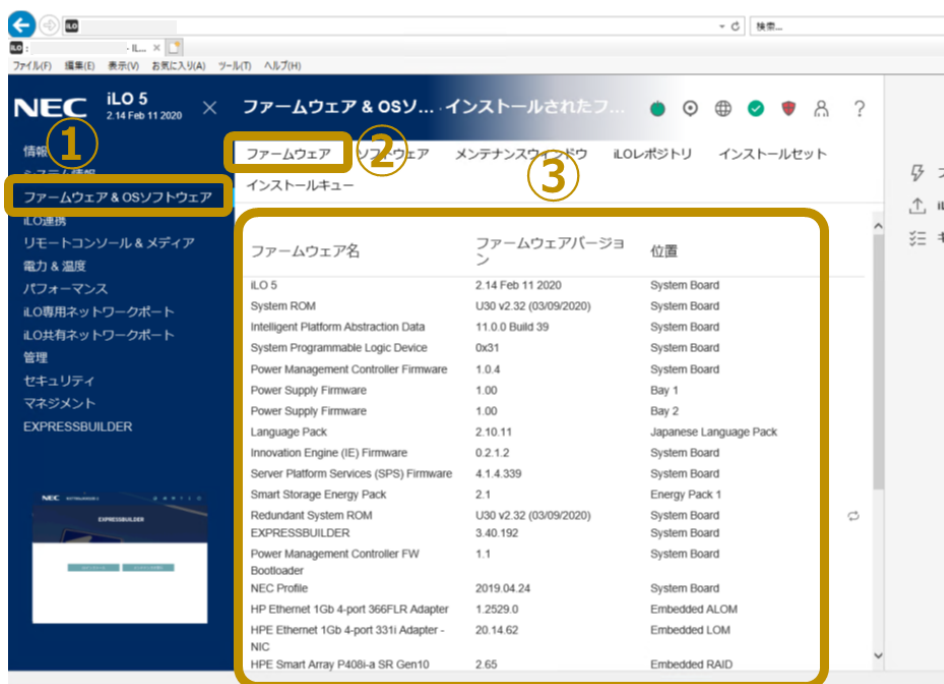
1
2
3
4
5
6
7

8. 付録

8.1. ファームウェアバージョン確認方法

8.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



8
9
10
11
12

本書記載ファームウェア更新手順にて更新されるファームウェア名は下表の通りです。

ファームウェア名 (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
System ROM	Mother Board (System ROM)	
Redundant System ROM		
Innovation Engine (IE) Firmware	Mother Board (IE)	
Server Platform Services (SPS) Firmware	Mother Board (SPS)	
iLO 5	Mother Board (iLO)	
Language Pack	Mother Board (language pack)	
HPE Smart Array P408i-a SR Gen10	RAID [NE3303-190]	(*01)
HPE Smart Array P816i-a SR Gen10	RAID [NE3303-191]	(*01)
HPE Smart Array P408i-p SR Gen10	RAID [NE3303-201]	(*01)
HPE Smart Array E208e-p SR Gen10	SAS [NE3303-197]	(*01)
HPE SR416i-a Gen10+	RAID [NE3303-237]	(*01)
HPE SR932i-p Gen10+	RAID [NE3303-238]	(*01)
HPE NS204i-p Gen10+ Boot Controller	OS ブート専用ボード [NE3303-239]	(*01)
Intel Eth Adptr I350T4 OCPv3	NIC (1G, T) [NE3304-206]	(*01)
Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T4	NIC (1G, T) [NE3304-209]	(*01)
10Gb 2-port Base-T BCM57416 OCP3	NIC (10G, T) [NE3304-217]	(*01)
Broadcom P210tep NetXtreme-E Dual-port 10GBASE-T Ethernet	NIC (10G, T) [NE3304-219]	(*01)

Intel(R) Eth Ntwk Adptr OCP3.0 E810-XXVDA2	NIC (10/25G, SFP) [NE3304-208]	(*01)
Intel(R) Eth E810-XXVDA2	NIC (10/25G, SFP) [NE3304-212]	(*01)
HPE SN1200E 16Gb 1p FC HBA	FC [NE3390-163]	(*01)
HPE SN1200E 16Gb 2p FC HBA	FC [NE3390-164]	(*01)
HPE SN1600E1P 32Gb 1p FC HBA - FC	FC [NE3390-171]	(*01)
HPE SN1600E2P 32Gb 2p FC HBA - FC	FC [NE3390-172]	(*01)
HPE SN1100Q 16Gb 1P FC HBA	FC [NE3390-165]	(*01)
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		
(*01) 本体装置構成によっては表示されない場合があります。		

1
2
3

1

2 **8.2. リモートコンソール及び仮想メディア**3 **8.2.1. .NET リモートコンソール (.NET IRC)の使い方**4 **8.2.1.1. コンソールの起動**

5 iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)を
6 クリックします。そして、「.NET コンソール」ボタン(③)をクリックします。



7

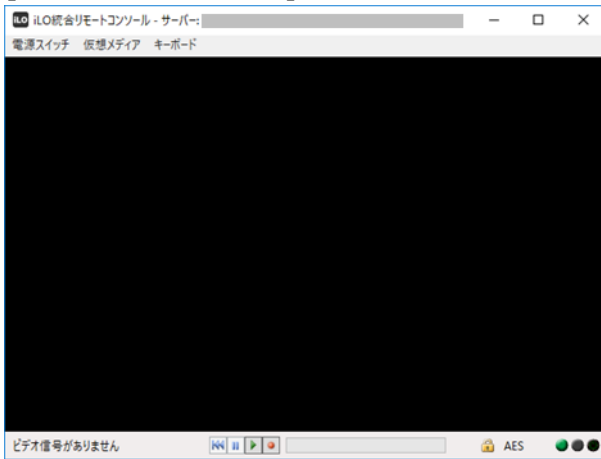
8

9 .NET リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

10

11

[.NET リモートコンソール]



12

13

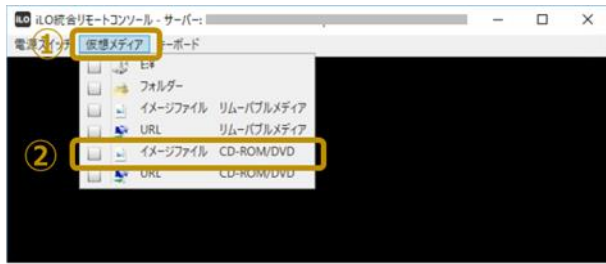
14 **8.2.1.2. 仮想メディアのマウント方法**

15 端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

16

17 **A. 仮想メディアの選択**

18 リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD]を選択します。

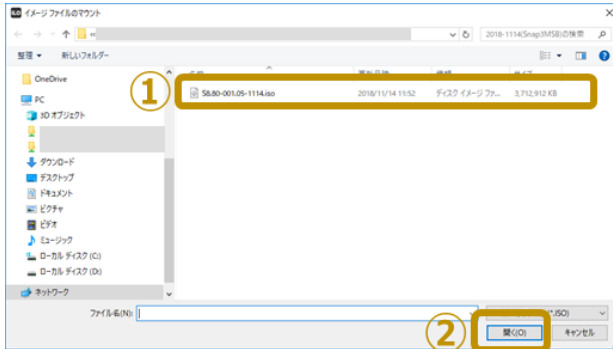


1
2
3

B. iso ファイルのマウント

4 ポップアップ表示された「イメージファイルのマウント」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。

5

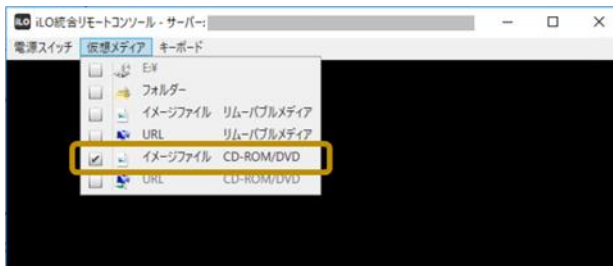


6
7


C. iso ファイルのマウントの確認

8 リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。

9



10
11

 ヒント	マウント解除する場合は、リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD] にチェック(レ点)が付いている状態で、[イメージファイル CD-ROM/DVD]をクリックします。
--	--

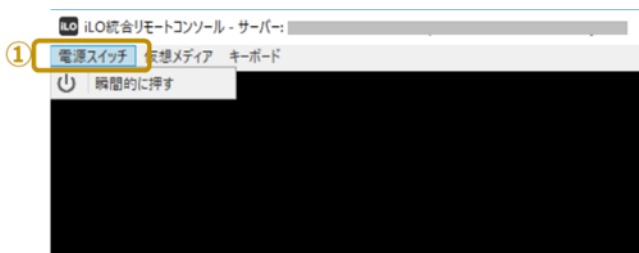
12

8.2.1.3. 本体装置の電源制御方法

14 リモートコンソールの[電源スイッチ]をクリックすると、電源操作メニューが表示されます。
15 表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

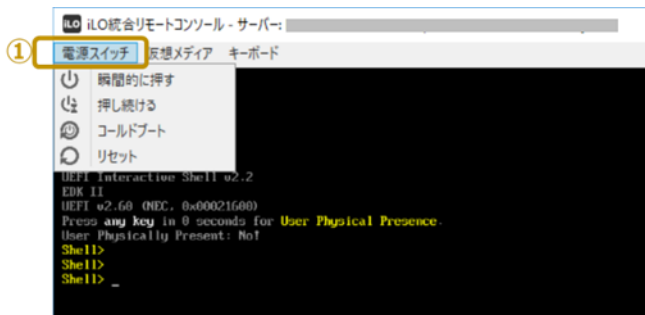
16

17 [本体装置電源 OFF 状態のとき]



18
19

1 [本体装置電源 ON 状態のとき]



2
3

4 各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬時的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬時的に押す	本体装置の電源を OFF しようとしています。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

5
6

1

2 8.2.2. HTML5 統合リモートコンソールの使い方

3 8.2.2.1. コンソールの起動

4 iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「HTML5 コンソール」ボタン(③)をクリックします。



6

7

8 HTML5 リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

9

10 [HTML5 リモートコンソール]



11

12

13 8.2.2.2. 仮想メディアのマウント方法

14 端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

15

16 A. 仮想メディアの選択

17 リモートコンソールの  をクリックし、[CD/DVD] → [ローカル *.iso ファイル]を選択します。



18

19

1 B. iso ファイルのマウント

- 2 ポップアップ表示された「アップロードするファイルの選択」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイル
 3 を選択し①、「開く(O)」ボタン②をクリックします。



4
5

6 C. iso ファイルのマウントの確認

- 7 リモートコンソールの  をクリックし、[CD/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。



8
9


 **ヒント**

マウント解除する場合は、リモートコンソールの  をクリックし、[CD/DVD] → [メディアの強制取り出し]を選択します。



10

11 **8.2.2.3. 本体装置の電源制御方法**

- 12 リモートコンソールの  をクリックし「電源」を選択すると電源操作メニューが表示されます。
 13 表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

14

15 [本体装置電源 OFF 状態のとき]



16
17

18 [本体装置電源 ON 状態のとき]



1
2
3

各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとしています。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

4

8.2.3. Java 統合リモートコンソール (Java IRC) の使い方

8.2.3.1. コンソールの起動

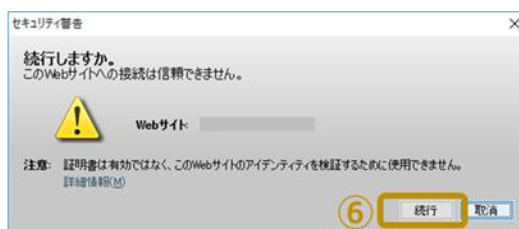
① iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「Web Start」ボタン(③)をクリックします。

④ 「…を開くか、または保存しますか?」とポップアップ表示されたならば、「ファイルを開く(O)」をクリックします。

⑤ 「このアプリケーションを実行しますか。」とポップアップ表示されたならば、「実行(R)」をクリックします。

尚、この画面がポップアップ表示されるまで約1分ほどかかります。

⑥ セキュリティ警告画面がポップアップされたならば、「続行」をクリックします。



18
19
20
21

Java 統合リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

1 [Java 統合リモートコンソール]



2
3

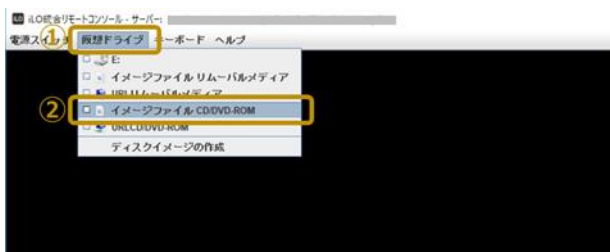
4 **8.2.3.2. 仮想メディアのマウント方法**

5 端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

6

7 A. 仮想メディアの選択

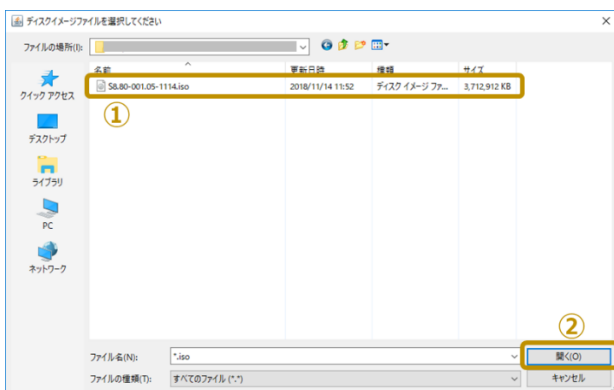
8 リモートコンソールの[仮想ドライブ] → [イメージファイル CD/DVD-ROM]を選択します。



9
10
11

11 B. iso ファイルのマウント

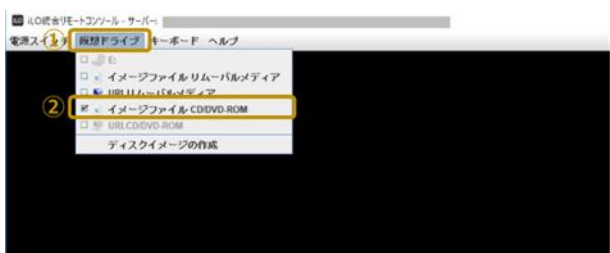
12 ポップアップ表示された「ディスクイメージファイルを選択してください」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している
13 iso ファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。



14
15
16

16 C. iso ファイルのマウントの確認

17 リモートコンソールの[仮想ドライブ]をクリックし、[イメージファイル CD/DVD-ROM]にチェック(レ点)が付いていること
18 を確認します。



19
20



マウント解除する場合は、リモートコンソールの[仮想ドライブ] → [イメージファイル CD/DVD-ROM] にチェック(レ点)が付いている状態で、[イメージファイル CD/DVD-ROM]をクリックします。

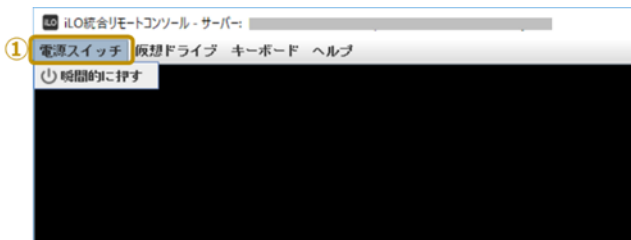
1

2 8.2.3.3. 本体装置の電源制御方法

3 リモートコンソールの[電源スイッチ]をクリックすると、電源操作メニューが表示されます。
 4 表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

5

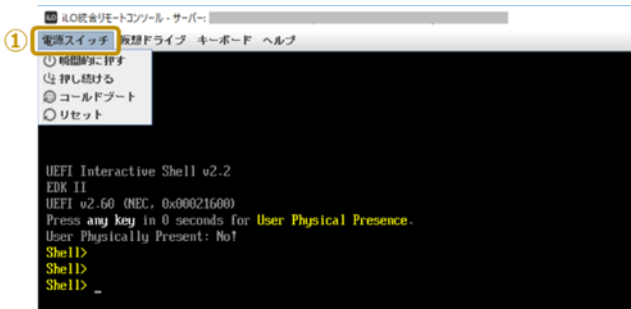
6 [本体装置電源 OFF 状態のとき]



7

8

9 [本体装置電源 ON 状態のとき]



10

11

12 各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとします。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

13

14

15

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12



13

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2022-2024

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

14
15
16
17
18
19
20
21